

徳島大学

2024



令和6年度 学生募集要項

一般選抜

総合科学部

医学部

歯学部

薬学部

理工学部

生物資源産業学部

- 「学生募集要項」は、PDF版のみとなります。
- 本学は、全選抜においてインターネット出願となっています。

本学ホームページ受験生サイト（<https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/>）



徳島大学 令和6年度入学選抜実施日程

【大学入学共通テストを課す選抜】 (大学入学共通テスト 1 / 13・14, 追試験 1 / 27・28)

区分	実施学部等	出願受付期間	第1段階選抜 (実施する場合)	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程 全学部	令和6年1月22日(月) ～2月2日(金)	令和6年2月13日(火) 医学部医学科, 薬学部 歯学部歯学科, 薬学部	令和6年2月25日(日) 医学部医学科・医科栄養学科, 歯学部歯学科, 薬学部, 生物資源産業学部 2月25日(日)・26日(月)	令和6年3月6日(水) 14時	令和6年3月7日(木) ～3月15日(金)
	後期日程 ※医学部医学科・医科栄養学科・ 保健学科検査技術科学専攻, 理工 学部(夜間主)を除く。		令和6年2月28日(水) 歯学部歯学科, 薬学部	令和6年3月12日(火)	令和6年3月21日(木) 14時	令和6年3月22日(金) ～3月27日(水)

区分	実施学部等	出願受付期間	第1次選考	第2次選考	合格者発表日	入学手続期間
総合型選抜	医学部医学科	令和5年10月20日(金) ～10月27日(金)	令和5年11月17日(金)	令和5年11月25日(土)	令和6年2月13日(火) 16時	令和6年2月14日(水) ～2月19日(月)
学校推薦型 選抜II	全学部 ※理工学部(夜間主)を除く。	令和6年1月16日(火) ～1月19日(金)	令和6年2月7日(水) ※医学部保健学科を除く。	令和6年2月11日(日)		

【大学入学共通テストを課さない選抜】

区分	実施学部等	出願受付期間	第1段階選抜 (実施する場合)	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
学校推薦型 選抜I	総合科学部 医学部医科栄養学科		令和5年11月17日(金)	令和5年11月25日(土) 令和5年11月23日(木)・ 24日(金)		
	理工学部(昼間), 理工学部 (夜間主), 生物資源産業学部	令和5年11月1日(水) ～11月8日(水)	令和5年11月17日(金) 理工学部(昼間)次世代光フロン ティア入試, 生物資源産業学部	令和5年11月24日(金)	令和5年12月15日(金) 16時	令和6年2月14日(水) ～2月19日(月)
帰国生徒選抜	総合科学部		令和5年11月17日(金)	令和5年11月25日(土)		
社会人選抜	総合科学部 医学部保健学科看護学専攻, 理工学部(夜間主)		令和5年11月17日(金)	令和5年11月25日(土)		
			令和5年11月17日(金)	令和5年11月24日(金)		

区分	実施学部等	出願受付期間	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
私費外国人 留学生選抜	総合科学部, 生物資源産業学部 医学部医学科・保健学科, 薬学部 歯学部歯学科	令和5年12月4日(月) ～12月21日(木)	令和6年2月11日(日) 令和6年2月25日(日) 令和6年2月25日(日)・26日(月) 令和6年2月16日(金)	令和6年3月6日(水) 14時	令和6年3月7日(木) ～3月15日(金)
	理工学部(昼間)				

理念・目標

〈理念〉

国立大学法人徳島大学は、自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し向上させ、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。

〈目標〉

【教 育】 1. 学生が志をもって学び、感じ、考え、生涯にわたって学び続ける知と実践にわたる体系的な教育を行う。

2. 自律して人類の諸問題の解決に立ち向かう、進取の気風を身につけた人材の育成を行う。

【研 究】 1. 自由な発想により真理を探究する研究を行う。

2. 人類の問題を解決する研究を行う。

3. 研究成果を社会に迅速に還元し、国際及び地域社会の平和な発展に貢献する。

【社会貢献】 1. 地域社会と世界を結ぶ知的なネットワークの拠点となり、平和で文化的な国際社会と活力ある地域社会を構築する。

2. 産官学の組織と連携し、社会の発展基盤を支える拠点となり、大学の開放と社会人の学び直しを支援し、地域社会に新産業を創出することに貢献する。

目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
1 障がいのある入学志願者との事前相談	24
2 大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除	24
3 検定料の返還	25
4 入試過去問題の使用	25
5 募集人員	26
6 出願資格	26
7 選抜方法	27
8 出願手続	47
・インターネット出願手順マニュアル	50
9 本学受験票の印刷	64
10 合格者の発表	64
11 欠員補充の方法	64
12 不正行為	64
13 入学手続	66
14 入学前学習	67
15 入学試験の成績の開示	67
16 試験問題及び出題意図，解答例等の公表	68
17 奨学金，入学科・授業料免除，学生寮等	68
18 安全保障輸出管理	68

個人情報取扱

- (1) 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については、入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務を行う目的をもって、本学が管理します。
また、同情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金、就職支援等）、授業料等に関する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析、入学者選抜方法の調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）及び学生支援関係業務（授業料免除、奨学金等）のために利用します。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知します。

教科・科目名の略称について

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査の出題教科・科目名及び出願資格の履修教科・科目名は、略称を用いる箇所では次のように表記します。

教科名	科目名
国語→国	国語→国
地理歴史→地歴	「世界史A」→「世A」 「世界史B」→「世B」 「世界史」→「世」 「日本史A」→「日A」 「日本史B」→「日B」 「日本史」→「日」 「地理A」→「地理A」 「地理B」→「地理B」
公民→公民	「現代社会」→「現社」 「倫理」→「倫」 「政治・経済」→「政経」 「倫理, 政治・経済」→「倫・政経」
数学→数	「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」→「数Ⅰ・数A」 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」→「数Ⅱ・数B」 「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」 「簿記・会計」→「簿」 「情報関係基礎」→「情報」 「工業数理基礎」→「工」
理科→理	「物理基礎」→「物基」 「化学基礎」→「化基」 「生物基礎」→「生基」 「地学基礎」→「地学基」 「物理」→「物」 「化学」→「化」 「生物」→「生」 「地学」→「地学」
外国語→外	「英語」→「英」 「ドイツ語」→「独」 「フランス語」→「仏」 「中国語」→「中」 「韓国語」→「韓」
総合問題→総合	総合問題→総合

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

全学の受入方針

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）*のもと、卓越した学術及び文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ① 高等学校等時に、真摯な態度で学習や多様な活動に意欲をもって取り組み、大学入学後も他の学生・教職員とともに切磋琢磨しながら、学び続ける意志をもつ人
〔求める要素：関心・意欲・態度、協働性〕
- ② 多様な情報に関心をもち続け、自らの自由な発想でその真偽と活用を主体的に判断しようとする人
〔求める要素：関心・意欲・態度、思考力・判断力、主体性、応用力〕
- ③ 本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき文科系・理科系に渡る知識・教養のもと、思考を深めて相手に表現できる人
〔求める要素：知識・教養、思考力・判断力、表現力〕
- ④ 自律して社会や地域の諸問題に意欲をもって立ち向かい、その課題解決策を深く掘り下げて伝えようとする人
〔求める要素：関心・意欲・態度、探究力、表現力〕
- ⑤ 他者の意見を真摯に受けとめ、協働して国際社会や地域社会の発展のために貢献しようとする人
〔求める要素：協働性、幅広い視野、創造性〕

※学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は、本学ホームページの下記 URL でご覧いただけます。

https://www.tokushima-u.ac.jp/about/information/education_announce/

※必ずお読みください!!

各学部、学科（専攻）の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）について

本学では、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を具体的に示しています。すべての学部、学科（専攻）の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は、下記の全項目によって成り立っています。入学を希望される方は、各選抜区分（一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜）における実施教科・科目等と同時に、全項目をしっかりと理解しておいてください。

- 各学部、学科（専攻）でどのような人物を育成するか。
- 求める人物像〔高等学校等で修得すべき具体的な内容を含む。〕
入学者に求める能力や資質（学力の3要素*を含めたもの）は何か。
- 入学者選抜の基本方針
各々の入学者選抜（一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜）でどのような力を評価するか。
- 入学者選抜方法における選抜内容^{（注1）}
各々の入学者選抜でどのような評価方法を活用するか、またその内容は何か。
- 入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕^{（注2）}
各々の入学者選抜方法でどのような力に比重を置くか。

※学力の3要素－1 知識・技能の確実な習得、2 知識・技能を基にした思考力、判断力、表現力、3 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

（注1）大学入学共通テスト、個別学力検査等で課す教科・科目等の詳細は、該当ページを必ず確認してください。「入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）」では、紙幅の都合上、大学入学共通テストと個別学力検査（教科に関するもの）の具体的な教科・科目を省略しています。

（注2）○印を付している項目（求める人物像）は、各入学者選抜方法で重点的に評価することを意味します。○印を付していない項目（求める人物像）を全く評価しないということではありません。

また、各々の入学者選抜方法に複数の該当選抜区分を記載しているものがありますが、これは○印の具体的な評価内容がすべて一律であることを意味するものではありません。

総合科学部

■社会総合科学科

人文・人間・社会・地域・情報等の諸科学における専門知識や専門技能、技術を身につけるとともに、専門分野の融合を図ることでグローバル化する現代社会の諸問題や地域課題を的確に理解し、問題解決に対応し得る実践的な人材の育成を目的としています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

グローバル化、少子高齢化、健康社会づくり、地域活性化などの社会的課題や地域課題に関心をもち、総合的な視点から問題解決を志向しようとする人。人文科学・人間科学・社会科学・地域科学・情報メディアの分野に関心をもつ人。21世紀型社会の創生に向けて貢献する進取の精神をもつ人

表現力

自分が伝えたいことを的確な表現を用いて相手に示すことのできる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理系も含めた基礎的な知識・教養を身につけた人
思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—文化・社会の理解に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

英語—グローバル化社会に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

地歴・公民—日本を含む世界の出来事に対する関心と、諸地域の地理・歴史についての基礎知識
数学、理科—理系分野の基礎的内容を理解し、論理的に考える力

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜活動実績重視型＞

書類審査で高等学校等時代での部活動、校外活動、芸術及びスポーツなどのいずれかの分野ですぐれた実績を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、面接では前述の実績をもとにしたリーダー的存在となりうる資質と本学部の教育分野への強い関心と積極性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜英語能力重視型＞

書類審査で英語のすぐれた能力、異文化理解能力を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、英語及び日本語での面接では英語のスピーチや会話によって英語の運用能力に関わる「関心・意欲・態度」「表現力」を評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す：5(6)教科型）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テスト5(6)教科型（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）の採点方式で、広範囲にわたり習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価します。書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を、面接では入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から、積極性、思考態度、専攻希望領域への意欲、より広い分野への関心の有無及び将来性等の項目について評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す：3教科型）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テスト3教科型（国語、外国語、地歴・公民、数学）の採点方式で、いずれかの科目での高く習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。面接では、入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から、積極性、思考態度、専攻希望領域への意欲、より広い分野への関心の有無及び将来性等の項目について評価し、以上を総合して選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分*	選 抜 内 容
小論文	一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	【一般 (後期)】 社会的な課題に関する基礎的な能力 (関心, 理解力, 表現力) を判定する。 【推薦Ⅰ】 本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力 (論述能力, 表現力等) を判定する。
集団面接	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	複数の面接担当者による集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い, 提出書類などの確認を行う場合がある。
個人面接 (スピーチ等含む)	推薦Ⅰ (英語)	「関心・意欲・態度」「表現力」を, 英語によるスピーチの内容, パフォーマンス, 質疑応答での英語力, 会話・コミュニケーション力に即して判定する。
志望理由書	推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	本学部に対する志望動機, 本学部の教育分野に対する強い関心, 専攻したい領域に対する強い意欲について, 高等学校の生活等の状況を踏まえて, 評価する。
指定調査書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	活動実績重視型では, 志望理由および高等学校等での教科外活動状況 (部活動・生徒会活動・校外活動, 大会・競技会・展覧会等での成績等及び資格・免許等) を評価する。英語能力重視型では, 志望理由と英語で記入した課題作文を評価する。
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	【一般 (前期) (後期)】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	学習や活動等の状況も踏まえ, 総合して判定する。

* 該当選抜区分内の「(活動)」は「活動実績重視型」, 「(英語)」は「英語能力重視型」, 「(5)」は「5(6)教科型」, 「(3)」は「3教科型」を示す。

●入学者選抜方法における重点評価項目 [入学者選抜方法と求める人物像との関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)			○	○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般 (前期)		○	○	○	
小論文	一般 (後期) 推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	○	○		○	
集団面接	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	○	○			
個人面接 (スピーチ等含む)	推薦Ⅰ (英語)	○	○			
志望理由書	推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	○				○
指定調査書	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語)	○		○		○
調査書	一般 (前期) 一般 (後期)			(総合判定の参考)		
	推薦Ⅰ (活動) 推薦Ⅰ (英語) 推薦Ⅱ (5) 推薦Ⅱ (3)	○				○

医 学 部

高い責任感，倫理観，ならびに生涯学び続ける意志をもち，国際性と研究能力を兼ね備えながら，基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■医 学 科

医学科では，基本的な臨床能力及び基礎的な医学研究能力を備え，生涯にわたり医療，教育，保健・福祉活動を通じて社会に貢献し，医学の発展に寄与することができる人材を養成することをめざしています。そのため，医学科では，次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

医学と生命科学に強い関心があり，自らを振り返りながら生涯学び続ける意欲があり，謙虚な態度で病める人に寄り添い，医学や医療の課題に真摯かつ熱心に対応できる人

知識・教養

本学科の専門分野を学ぶために，高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識や教養をもつ人

思考力・判断力

これまでに獲得した知識や教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

表 現 力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

主 体 性

自分の意志と判断で社会や地域に対して責任をもって行動できる人

協 働 性

問題解決のために，国籍や日本における各地域，世代，考え方にとらわれることなく，相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学－基礎的知識・技法と数学的思考法

理 科－物理・化学・生物の基礎的な知識と科学的な自然観・探究心。なお，合格者は，大学入学後に備えて，大学受験における未選択科目の基礎的な知識を再確認しておくこと。

国語・英語－地域社会や国際的分野において医療人として活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力，読解力，思考力

地歴・公民－将来，医療人として活躍するために必要な常識的な知識や素養

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し，個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」をあわせて評価します。学力とともに，生涯にわたり社会に貢献し，医学の発展に寄与する医療人へ成長できる人を総合的に選抜します。

総合型選抜（大学入学共通テストを課す）＜四国研究医型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験ではこれらに加え，「関心・意欲・態度」「表現力」「主体性」「協働性」を評価します。四国研究医型は，四国地区の環境や生活に関心をもちつつ，地域に貢献し，国際性と研究能力を兼ね備えた医師をめざす者を積極的に受入れることとしています。本学科における入学者の多様性は極めて重要です。本学科の資源を最大限に活用し，他の選抜区分で入学する学生の模範となる人物を求めます。よって，医療を通じて四国地区，そして世界に貢献する複合的な視点をもって活躍するリーダー性，そして医学科で学ぶために必要不可欠な資質を深く評価することを目的としています。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜適性と学力重視型（一般枠・地域枠）＞

大学入学共通テストでは「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し，個別試験では2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し，「思考力・判断力」「主体性」「協働性」をあわせて評価します。学力とともに，高等学校等段階における多様な能力，関心等を重視し，それらを表現できる人を総合的に選抜します（一般枠，地域枠共通）。地域枠は，「主体性」の評価を綿密に行います。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
総合討論	総合型	総合討論(集団討論に加え、小論文形式の出題やレポート作成を組み合わせた選抜)は下記の手順で実施する。 ①(小論文形式)日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行う。 ②(集団討論)①の解答終了後に出題内容の中の題材による集団討論を行う。 ③(まとめレポート)②の終了時に討論のまとめに関する簡単なレポート作成を行う。
個人面接	総合型 推薦Ⅱ(地域枠)	複数の面接担当者による個人面接を行う。 【総合型】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。 【推薦Ⅱ(地域枠)】 地域医療に対して責任を持って行動できる主体性等について評価する。
集団討論	推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。
集団面接	一般(前期) 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による集団面接を行う。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
活動報告書	総合型	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動(部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動)」を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般(前期) 総合型 推薦Ⅱ	【一般(前期)】面接の参考資料とする。 【総合型・推薦Ⅱ】アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
志望理由書	総合型 推薦Ⅱ	医学部医学科を志望する理由・動機、入学後に学びたいこと及び将来への抱負を400字程度で具体的に記述して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
推薦状	推薦Ⅱ	志願者のスポーツ、文化活動、ボランティア活動又は国際交流等の課外活動の指導者など、直接志願者をよく知っている成人が、推薦理由、課外活動、活動成果、人物(協調性、指導性、忍耐力、責任感など)、その他について記載して提出する。推薦状の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	知識・教養	思考力・判断力	表現力	主体性	協働性
共通テスト	一般(前期) 総合型 推薦Ⅱ		○	○			
個別学力検査 <教科>	一般(前期)		○	○			
総合討論	総合型			○	○		○
個人面接	総合型 推薦Ⅱ(地域枠)	○			○	○	
集団討論	推薦Ⅱ			○	○	○	○
集団面接	一般(前期) 推薦Ⅱ	○			○		
活動報告書	総合型	○				○	○
調査書	一般(前期) 総合型 推薦Ⅱ						
志望理由書	総合型 推薦Ⅱ						
推薦状	推薦Ⅱ						

医 学 部

高い責任感，倫理観，ならびに生涯学び続ける意志をもち，国際性と研究能力を兼ね備えながら，基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を实践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■医科栄養学科

『食律生命』の理念のもとに，医学と連携した医科栄養学を通して，高度化する医療と人々の食生活の改善・健康の維持増進に資することができる，次のような人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

栄養学・医学に強い関心があり，医科栄養学を生涯にわたり学ぶ目標をもつ人

知識・教養

本学科の専門分野を学ぶために，高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識や教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い視野と柔軟な感性を有し，今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

表 現 力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

探 究 力

自分が関心をもったことを深く掘り下げ，その中から新たな課題を発見できる人

協 働 性

問題解決のために，国籍や世代，考え方にとらわれることなく，相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英 語－医学・栄養学の専門的な論文を将来読み，理解できるための読解力と表現力，コミュニケーション能力

数 学－数学の基本的な概念や原理・法則の理解，また計算力と論理的な思考法

理 科－自然科学を理解する基礎学力と科学的な自然観・探究心

国 語－様々な文献の読解力と，自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民－将来，良識ある社会人として必要な基本的知識と素養

そ の 他－食生活や医療に対する関心をもち，理論的に科学を思考する能力と姿勢

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し，個別試験ではこれらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。国内のみならず国際的な視野をもつ人物を求めるため，英語能力に重点を置くとともに，自律的な学びを継続させ実践できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜主体性重視型＞

個別試験で「思考力・判断力」「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し，「協働性」「探究力」「知識・教養」をあわせて総合的に評価します。学校推薦型選抜Ⅰでは，医科栄養学研究に対して，高い主体性をもって行動できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性と学力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では，2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し，「協働性」「探究力」「思考力・判断力」をあわせて評価します。学力とともに，高等学校等段階における多様な能力，関心等を重視し，それらを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
基礎学力考査	推薦Ⅰ	「英語」「数学（数Ⅲを除く。）」の基礎学力の確認（記述式）を行い、高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定する。
集団討論	推薦Ⅰ	複数の評価担当者による集団討論を行う。
個人面接	一般（前期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。 【推薦Ⅰ】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、基礎学力考査及び書類審査、集団討論の成績にかかわらず不合格となることがある。 【推薦Ⅱ・一般（前期）】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	医学部医科栄養学科に志望した動機、理由、入学後の希望等について、詳細に記入して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	知識・教養	思考力・判断力	表現力	探究力	協働性
共通テスト	一般（前期） 推薦Ⅱ		○	○			
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）		○	○	○		
基礎学力考査	推薦Ⅰ		○	○			
集団討論	推薦Ⅰ			○	○		○
個人面接	一般（前期）	○			○		○
	推薦Ⅰ	○		○	○	○	
	推薦Ⅱ	○		○	○	○	
調査書	一般（前期）			（総合判定の参考）			
	推薦Ⅰ						
	推薦Ⅱ	○					○
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ			（面接の参考）			

医学部

高い責任感，倫理観，ならびに生涯学び続ける意志をもち，国際性と研究能力を兼ね備えながら，基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において，人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち，高度の専門知識・技術を基に，チーム医療，地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆看護学専攻

国際化，高度化する医療の発展を支える看護学の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を備えるとともに，健康の維持・増進，生活の質を高めるにふさわしい潜在的資質を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

看護への志向性をもち，人間，生命，健康，医療，環境に強い関心とそれらを学ぶ意欲があり，自己の将来像について明確な目標をもっている人

協働性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

理解力・表現力

他者の思いや状況を理解し，自分の考えを適切に表現し伝えることができる人

知識・教養

保健・医療・福祉など専門分野を学ぶために，高等学校等で修得すべき*文科系・理科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

思考力・判断力

高等学校で身につけた知識・教養をもとに，論理的な思考によって物事を判断し，課題を解決しようとする人

幅広い視野

自分たちが住む地域の保健医療や日常生活に関心を向け，国際的な視野をもちながら多角的に物事をとらえることのできる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—文章を正しく理解する能力と自分の考えを適切に表現するための作文能力

地歴・公民—基礎学力を有し，社会と人の生活を関連づけて考える姿勢と能力

数学—基本的な知識と計算力及び論理的に思考する能力

理科—自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力

外国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し，個別試験では，これらに加えて「関心・意欲・態度」「理解力・表現力」も評価します。看護への志向性等を踏まえ，より深い知識とともに，思考をめぐらせて表現できる人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し，個別試験では，これらに加えて「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」「幅広い視野」も評価します。知識のみならず，学び意欲や自分で課題を発見し，主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し，個別試験では，これらに加えて「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」「幅広い視野」を評価します。高等学校等段階における看護に対する関心や意欲などを重視し，協働性をもった人を総合的に選抜します。

(注) 本専攻では，各選抜で実施する個別学力検査等におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合は，合計点のいかにかわらず不合格とします。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行う。
集団討論	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。試験室で提示されたテーマをもとに討論を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。本専攻が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。
志望理由書	推薦Ⅱ	本専攻への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、300～400字で簡潔に作成して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 面接の参考資料とする。 【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	協働性	理解力・表現力	知識・教養	思考力・判断力	幅広い視野
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ				○	○	
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）				○	○	
小論文	一般（後期）			○		○	○
集団討論	一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○	○			○
集団面接	一般（前期）	○		○			
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	○		○			
調査書	一般（前期） 一般（後期） ----- 推薦Ⅱ				(面接の参考)		○
志望理由書	推薦Ⅱ				(面接の参考)		

医 学 部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基に、チーム医療、地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆放射線技術科学専攻

先進的な放射線科学を修得するために必要な理数系の基礎学力に優れ、医学に対する幅広い知識の修得を積極的に行い、医療人としての豊かな人間性とチームワーク精神を自ら高め、診療放射線技師資格取得をめざす明確な目的意識をもった、医療の発展に寄与できる資質を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

放射線科学、生命、健康、医療に対する強い関心とそれらを学ぶ意欲があり、自己の能力を高めるための努力を惜しまない人

思考力・判断力・表現力

論理的な思考によって物事を理解し、適切な判断ができ、相手の視点に立って表現できる人

応 用 力

将来の技術革新に対応できる人

協 働 性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

知識・教養

本専攻の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

幅広い視野

国際的な視点から地域社会の視点に至るまで、幅広い視野で課題の解決に取り組める人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解、計算力及び論理的に思考する能力

理 科—「物理基礎」、「物理」における内容の理解、自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力
外国語、国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

地 歴・公 民—将来、地域や国際社会で医療人として、また、良識をもった人間として活躍するために必要な知識や素養

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験ではこれらに加えて「関心・意欲・態度」「表現力」「応用力」「協働性」「幅広い視野」も評価します。自然科学を理解する基礎学力に優れ、豊かな人間性ととも論理的に判断・行動する資質をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験では、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「応用力」「協働性」「幅広い視野」を総合的に評価します。知識のみならず、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性重視型＞

大学入学共通テストでより深い「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験では、「関心・意欲・態度」「協働性」「幅広い視野」「思考力・判断力・表現力」を総合的に評価します。高等学校等段階における多様な能力、関心などを重視し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。なお、本専攻が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。 【一般（後期）】 アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。 【推薦Ⅱ】 本専攻が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
志望理由書	推薦Ⅱ	本専攻への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、400字程度で簡潔に作成して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 面接の参考資料とする。 【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況を踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	思考力・判断力	応用力	協働性	知識・教養	幅広い視野
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ		○			○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般（前期）		○	○		○	
小論文	一般（後期）	○	○	○			○
集団面接	一般（前期）	○	○		○		○
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○		○		○
調査書	一般（前期） 一般（後期） ----- 推薦Ⅱ			(面接の参考)			
志望理由書	推薦Ⅱ	○			○		○
				(面接の参考)			

医学部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基に、チーム医療、地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆検査技術科学専攻

医学ならびに医療に対する関心が高く、国際的な視野と豊かな人間性をもち、医療人として臨床検査技術を身につけ、応用できる能力を育成するために必要な学力を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

生命科学や医学、医療に強い関心があり、自分で明確な目標をもって意欲的に学習に取り組める人

探究力

好奇心旺盛で、自分の興味があることについて徹底的に探究しようとする人

表現力

集団の中で自分の意見をはっきりと伝えることができる人

知識・教養

高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

思考力・判断力

自分のもっている知識や教養をもとに考慮して、客観的に適切な判断ができる人

協働性

問題解決のために対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科－「化学」、「生物」及び「物理」の幅広い知識と科学的な探究心

数 学－「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解、基本的な概念や原理・法則を理解する能力と数学的な思考力

外国語、国語－地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力・読解力

地歴・公民－将来、良識ある社会人として地域で活躍するために必要な基本的な知識と素養

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験では深い思考力や幅広い知識、さらに当専攻への関心・意欲等を明確に示すことができる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「探究力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、自主的に判断・行動できる確かな資質をもつ人を選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
集団面接	推薦Ⅱ	複数の面接担当者で集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。
志望理由書	一般（前期） 推薦Ⅱ	<p>【一般（前期）】 本専攻への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、400字以内で簡潔に「志望理由書」を作成して提出する。調査書及び「志望理由書」を参考にしつつ、アドミッション・ポリシーに基づいて総合的に評価を行い、可否を判定する。</p> <p>【推薦Ⅱ】 本専攻への志望理由について、これまで学んできた環境や関心事などを考慮して、400字以内で簡潔に作成して、提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。</p>
調査書	一般（前期） 推薦Ⅱ	<p>【一般（前期）】 総合判定の参考とする。</p> <p>【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。</p>
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性	
共通テスト	一般（前期） 推薦Ⅱ				○	○		
個別学力検査 ＜教 科＞	一般（前期）				○	○		
集団面接	推薦Ⅱ	○	○	○			○	
調査書	一般（前期）	(総合判定の参考)						
	推薦Ⅱ	○	○				○	
志望理由書	一般（前期）	(総合判定の参考)						
	推薦Ⅱ	(面接の参考)						

歯 学 部

豊かな人間性を基盤として、医療・保健・福祉を通して健康長寿の推進への情熱と、教育・研究を通して人類の知を
発展させる意欲にあふれた人材に成長できる人物を求めています。

■歯 学 科

生命科学に興味と情熱をもち、人間的な優しさをそなえた歯科医師・歯学研究者をめざす、次のような人物を求
めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

- ・患者の立場を理解できる豊かな人間性をもつ人
- ・歯科医療の発展への情熱をもち、生涯にわたって貢献しようと考えている人
- ・歯科医療で国際的な活動をしたいと思っている人
- ・歯科医学に関係する研究に関心をもち、新しい発見や治療法の開発に貢献したいと思っている人

表 現 力

自分の意見や考えを相手に伝えることができる人

知識・教養

本学科で歯科医学を学び、生涯にわたって学びを継続するために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系に
わたる基礎的な知識と教養をもつ人

思考力・判断力

広い視野と論理的思考をもって行動できる人

協 働 性

オープンマインドな姿勢で他者と協力して課題に取り組める人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語、国語－新聞や書籍（英文も含む）等を積極的に熟読し、読解力や論理的思考力を身につける。

理 科－理科は化学、物理および生物の知識がすべて必要となり、大学受験で選択した以外の理科の科目に
ついては修得が必要です。合格者には、入試で選択しなかった科目を学習してもらうため、入学ま
でに取り組むべき課題を提供する予定です。

数 学－高等学校等で履修した数学を再確認し、数学的思考ができるようにする。

地歴・公民－社会全般（高校で履修しなかった教科も含む）にわたって興味をもち、世界的視点から日本の文化、
思想、制度、歴史及び地理について考察できるようにしておく。

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では「思考力・判断力」「知識・
教養」「関心・意欲・態度」「協働性」「表現力」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見
し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に評価し選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では「思考力・判断力」「協
働性」を重点的に評価し、「関心・意欲・態度」「表現力」を合わせて評価します。優れた思考力に基づいてみ
ずから課題を発見し、協働して解決できる人を総合的に評価し選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では2段階に渡って「関
心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を重点的に評価します。高等学校等段階における多様
な能力、歯科医学に対する高い関心・適応性、意欲等を重視し、それを深く表現できると同時に、協働性に富
む人を総合的に評価し選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	日本語及び英語で書かれた文章や図表等をもとに、現代の社会における諸問題について考察し、みずからの考えを表現する出題を行う。
個人面接	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
集団討論	推薦Ⅱ	提示されるテーマ（医療や健康に関する現代の社会の諸問題）に関して討論を行い、結論を導く。その過程を複数の担当者により評価する。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団討論では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがある。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ】 面接の参考とする。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。
志望理由書	推薦Ⅱ	本学科への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、800字程度で作成して提出する。参考資料として面接時の評価にも用いる。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般（前期）			○	○	
小論文	一般（後期）	○	○		○	
個人面接	一般（前期）	○	○			○
	一般（後期）					
	推薦Ⅱ	○	○			
集団討論	推薦Ⅱ		○		○	○
調査書	一般（前期）			(総合判定の参考)		
	一般（後期）					
	推薦Ⅱ			(面接の参考)		
志望理由書	推薦Ⅱ			(面接の参考)		

歯 学 部

豊かな人間性を基盤として、医療・保健・福祉を通して健康長寿の推進への情熱と、教育・研究を通して人類の知を
発展させる意欲にあふれた人材に成長できる人物を求めています。

■口腔保健学科

人間的な優しさを持ち、口腔保健及び福祉の専門知識と技能を身につけ健康長寿の推進に貢献できる、次のよう
な人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

- ・学習意欲・好奇心が旺盛で、チャレンジ精神のある人
- ・歯や口の健康に興味を持ち、歯科の病気の予防に貢献したいと考える人
- ・高齢者や障害者などに関する現代社会・地域社会の諸問題を見据え、その解決に貢献したいと考える人

表 現 力

自分の考えや意見を論理的に説明できる人

知識・教養

本学科の専門分野を学び、将来にわたって学びを継続するために、高等学校等で修得すべき*全領域の科目にわ
たる知識・教養をバランスよくもつ人

思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協 働 性

チーム医療における問題解決のために、職種や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英 語－基礎的なコミュニケーション能力や読解力を身につけておく。

理 科－理科の学習を通じて自然科学に深い関心を持ち、その基礎的な考え方を身につけておく。

国 語－国語の学習を通じて、現代人としての常識的な知識とともに、日本語による論理的な記述力やコ
ミュニケーション能力を身につけておく。

数 学－単に公式を暗記し問題に当てはめるだけではなく、論理的な思考を展開するために必要な理解力と
応用力を身につけておく。

地歴・公民－地歴・公民に広く関心を持ち、多様な価値観や世界観、考え方があることを理解しておく。

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では「思考力・判断力」「知識・
教養」「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や、自分で課題を発
見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価します。個別試験では個人面接を行
い、口腔保健に対する「関心」や「意欲」、さらには「協働性」を評価し、それを表現できる人を総合的に選抜
します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階に渡って
「関心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を重点的に評価します。高等学校等段階における
多様な能力、口腔保健に対する「関心」や「意欲」を重視し、それを深く表現できると同時に協働性に富む人
を総合的に評価し選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
個人面接	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
集団討論	推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。提示されたテーマをもとに討論を行う。集団討論では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがある。
活動報告書	推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ】 面接の参考とする。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般（前期）			○	○	
個人面接	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○			○
集団討論	推薦Ⅱ		○		○	○
活動報告書	推薦Ⅱ	○				
調査書	一般（前期） 一般（後期） ----- 推薦Ⅱ			(総合判定の参考)		
				(面接の参考)		

薬学部

■薬学科

薬学を基盤とし、薬剤師・研究者・教育者として、薬物療法・医薬品創製およびそれに資する科学全体の向上に、情熱・倫理観・使命感をもって貢献できる人材を求めています。薬学部の教育方針は、多様な薬学分野を基盤とした幅広い知識と技能を身につけ、薬学を含む種々の職能領域と相互連携しうる能力をもち、自ら活躍できる場を積極的に開拓できる可能性をもった人材（インタラクティブ YAKUGAKUJIN）を育成することです。したがって、既成概念にとらわれない柔軟な思考能力をもち、向学心に満ち、未踏分野の開拓精神に溢れた人材を募集します。

●求める人物像

関心・意欲・態度

薬学にかかわる広範な領域に強い関心とそれらの学びに対する意欲があり、自ら未踏分野を開拓しようとする姿勢・態度を有する人

探究力

自分が関心をもったことを深く掘り下げて探究し、その中から新たな問題・課題を発見できる人

表現力

自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の立場に配慮して表現できる人

知識・教養

薬学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*基礎的かつ広範な知識や教養を有する人

思考力・判断力

修得した知識・教養・技能を基盤に、思考を深化・展開させ、科学的エビデンスに基づいて未知の課題に対して適切な解を判断できる素養を有する人

協働性

多職種の人と協働して活躍できる素養を有する人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—化学および基礎的な物理・生物の知識

数 学—理系数学についての基本的な知識・技能と論理的思考法

英語、国語—基礎的な読解力・表現力・発信力・コミュニケーション能力

そ の 他—将来、薬剤師・研究者・教育者として活躍するためには、上記以外の科目もあそそかにせず、また部活やボランティア等、様々な活動に積極的に取り組むことで、幅広い視野と高い倫理観、豊かな人間性を育ててもらいたい。

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。幅広い知識を基盤に柔軟な科学的思考のできる人を求めるとともに、豊かな人間性と倫理観のある人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。幅広い知識を持ち、化学の学力が顕著な人を求めます。

本学部の教育方針への理解・学ぶ意欲等を深く評価するため集団面接と志望理由書を課し総合的に選抜します。学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜創薬研究者育成型（長井枠）＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「関心・意欲・態度」「探究力」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を評価します。徳島大学薬学部は、日本薬学の開祖である長井長義博士の進言により、「薬の創製（創薬）」を目的として設立されました。したがって「薬の創製（創薬）」に伝統をもち、創薬研究者を育成する環境を有することに強みがあります。創薬研究者育成型（長井枠）は、創薬に強い関心を示すとともに、高等学校等時に意欲的に取り組んだ主体的な活動を活かし世界に通用する創薬研究者をめざす人を求めます。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「関心・意欲・態度」「探究力」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を評価します。徳島大学薬学部は、世界に通用する創薬研究者・高度医療薬剤師の育成に加えて、地域医療を担う薬剤師の育成機能を有しています。先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）は、薬剤師の不足する地域の医療を担う薬剤師のリーダーとして社会に貢献する人を求め、世界と地方を繋ぐ多様な入学者の受け入れを行います。

※本選抜はいわゆる「地域枠」ではありません。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
論述レポート	推薦Ⅱ (長)	薬学に関連する講義を聞き、論述形式のレポートを作成する (全て日本語)。
小論文	推薦Ⅱ (地)	日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行う。
集団面接	一般 (前期) 一般 (後期)	複数の面接担当者による集団面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学部が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	アドミッション・ポリシーに基づいて複数の面接担当者により個人面接を行う。提出書類や論述レポートもしくは小論文の内容の確認を行う場合がある。
志望理由書	一般 (後期)	本学部への志望理由について、これまでの学生生活等の状況を踏まえて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。アドミッション・ポリシーに基づいて評価を行い、合否を判定する。
学びの設計書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	【長井枠】 大学入学から大学院を経て創薬研究者までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野とその理由を含めて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。面接時に参考資料として用いる。 【地方貢献枠】 大学入学から大学院を経て地方もしくは薬剤師の不足する地域に貢献する薬剤師までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野とその理由を含めて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。面接時に参考資料として用いる。
活動報告書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動 (部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動)」「資格・検定等 (参考)」を評価する。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	【一般 (前期) (後期)】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ (長井枠) (地方貢献枠)】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目 [入学者選抜方法と求める人物像との関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)				○	○	
個別学力検査 <教科>	一般 (前期) 一般 (後期)			○	○	○	
論述レポート	推薦Ⅱ (長)		○	○	○	○	
小論文	推薦Ⅱ (地)			○		○	
集団面接	一般 (前期) 一般 (後期)	○		○			○
個人面接	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	○	○	○			○
志望理由書	一般 (後期)	○					
学びの設計書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)		○	○			
活動報告書	推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)	○	○				
調査書	一般 (前期) 一般 (後期) 推薦Ⅱ (長) 推薦Ⅱ (地)					(総合判定の参考)	
		○					○

* 該当選抜区分内の「(長)」は「創薬研究者育成型 (長井枠)」, 「(地)」は「先導的地域医療薬剤師育成型 (地方貢献枠)」を示す。

理工学部

■理工学科

自ら課題を探究し、未知の問題に対して俯瞰的視野から総合的な判断を下すことができる能力を兼ね備え、科学技術のイノベーションに柔軟に対応しながらグローバルに活躍できる理工系人材を養成します。そのため、理工学部理工学科では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

科学技術の両輪となる理学と工学を融合した理工学の各専門分野に強い関心と学びに対する意欲があり、明確な目標をもっている人

表現力

自分が伝えたいことを相手に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識や教養をもつ人
思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

主体性・創造性・協働性

多様な経験をもとに、主体的に創造性豊かな発想ができる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力

理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」（受験者が入学試験で利用する科目）における内容の理解と科学的思考力

国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、倫理、政治・経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価します。一般選抜では、理工学部1学科制のもと、俯瞰的視野を有して学び続ける意欲をもつ入学者を求めるとともに、入学者の主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。入学後の教養教育・専門教育に対応できる幅広い知識と理数系に対する深い思考力をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価します。一般選抜では、理工学部1学科制のもと、俯瞰的視野を有して学び続ける意欲をもつ入学者を求めるとともに、入学者の主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。入学後の教養教育・専門教育に対応できる幅広い知識と理数系に対する深い思考力、さらに本学科の志望領域への関心・意欲等を明確に示すことができる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

<次世代光フロンティア入試>

光システムコースへの入学希望者を対象に、個別試験で「関心・意欲・態度」と「知識・教養」を重点的に評価し、「表現力」と「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。本選抜においては、発光・受光素子、光材料、光情報、生体光学など次世代光科学に関する研究に強い関心とそれを学ぶために必要な基礎学力をもつとともに、将来、光科学を通じて生活を豊かにすることへ意欲を有する入学者の受入を目的としています。

<理工学経験重視型入試（工業に関する学科を対象）>

個別試験で「関心・意欲・態度」と「知識・教養」を重点的に評価し、「表現力」と「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者を対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力をもつとともに、多様で創造性のある実習経験等が豊富な入学者の受入を目的としています。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）<主体性・創造性重視型>

大学入学共通テストで「思考力・判断力」と「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」と「主体性・創造性・協働性」を重点的に評価し、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。高等学校等段階における多様な経験をもとに柔軟に対応できる力を重視するとともに、各専門分野への強い関心を表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
志望調書	一般（後期）	試験実施日当日（個別学力検査（数学）終了後）において、志望するコースへの志望理由等に関連したテーマ・内容1題を提示し、志望調書を作成（300字以内：40分）して提出する。資料の持込は認めない。アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
個人面接 （口頭試問含む）	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合がある（口頭試問の詳細は推薦Ⅰ・推薦Ⅱにおける推薦要件及び選抜方法等の該当ページを参照）。なお、推薦Ⅱにおいては第1次選考の結果により、面接を免除する場合がある。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価する。また、推薦Ⅰ・次世代光フロンティア入試においては「資格・検定等」を併せて評価し、推薦Ⅰ・理工学経験重視型入試においては「意欲的に取り組んだ活動」で工業に関する学科特有の活動実績を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	志望するコースへの志望理由を300～400字程度で簡潔に作成して提出する。志望理由書は本人の自筆で記入すること。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	主体性・創造性・協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 <教科>	一般（前期） 一般（後期）			○	○	
志望調書	一般（後期）	○				
個人面接 （口頭試問含む）	推薦Ⅰ	○	○	○		
	推薦Ⅱ	○	○	○	○	
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
調査書	一般（前期） 一般（後期）			（総合判定の参考）		
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ			（面接の参考）		

生物資源産業学部

■生物資源産業学科

生物資源産業学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドをもった人材の育成を目的としています。そのため、生物資源産業学部では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標を定めることができる人

探究力

興味や関心を持った科学的事象を深く掘り下げることができる人

表現力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い知識と教養、多くの経験をもとに深く思考し、適切に判断できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—化学および基礎的な物理、生物の知識

数 学—「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」における内容の理解と応用力

英 語—国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力

国 語—様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民—地歴・公民における基礎的な内容の理解

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験ではこれらに加えて「表現力」「関心・意欲・態度」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験ではこれらに加えて「探究力」「表現力」を評価します。より深い知識とともに、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

学校推薦型選抜Ⅰでは、地方創生に意欲をもつ入学者の受け入れを目的としており、「地域産業振興枠」と「専門学校・総合学科全国枠、地域枠」があります。いずれの枠も大学入学共通テストを課さず、個別試験のみで選抜します。個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」を重点的に評価し、「探究力」「協働性」をあわせて総合的に評価します。

<地域産業振興枠>

自らの住む地域に愛着を持ち、地域の生物資源を利用する産業を発展させる創造的活動をめざす入学者の受け入れを目的としています。本枠は、学科（普通科や専門教育を主とする学科等）の指定や地域の限定を行わず広く募集します。

<専門学校・総合学科全国枠、地域枠>

地域の1次産業や6次産業の担い手としての活動をめざす入学者の受け入れを目的としています。本枠は、（各地域の産業界と結びつきの強い専門教育を受けた）専門学校・総合学科を対象とし、「全国枠」および「地域枠」により募集します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）<主体性・表現力重視型>

3教科の大学入学共通テストでより深い「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「探究力」「協働性」を合わせて評価します。高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
総合問題	一般（後期）	日本語で書かれた文章や図表等により，下記の力を問う記述・論述式の出題を行う。 ①化学（化基・化）に関する基礎学力と思考・判断力（実験データの解析力等を問う場合あり） ②現代の社会における諸問題（バイオテクノロジー，食料，農業等で抱える問題）や生物資源産業への深い関心と，自らの考えを表現する力 ※②は小論文の要素を含めた出題
小論文	推薦Ⅰ	日本語で書かれた文章や図表等により，「思考力・判断力」「表現力」を問う論述式の出題を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。アドミSSION・ポリシーに基づいて集団面接を行う。
個人面接	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミSSION・ポリシーに基づいて個人面接を行い，提出書類等の確認を行う場合がある。なお，推薦Ⅰにおいては，高校の基礎学力（「化学基礎・化学」）を確認するため，口頭試問を行う。また，推薦Ⅰ・地方創生型（地域産業振興枠）では，「学びの設計書」に関する内容についてプレゼンテーションを行う。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動，生徒会活動，プロジェクト活動，ボランティア活動，海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価する。また，推薦Ⅰでは，「資格・検定等」を合わせて評価する。なお，推薦Ⅰ・地方創生型（専門高校・総合学科全国枠，地域枠）においては，「意欲的に取り組んだ活動」で農業，工業，商業，水産に関する学科又は総合学科特有の活動実績を評価する。 ※作成方法については，「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
学びの設計書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	大学・社会人までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野の理由を含めて，300字～400字で簡潔に作成して提出する。学びの設計書は必ず受験者自筆で作成する。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミSSION・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ，総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ				○	○	
個別学力検査 <教科>	一般（前期）			○	○	○	
総合問題	一般（後期）		○	○	○	○	
小論文	推薦Ⅰ			○		○	
集団面接	一般（前期）	○		○			
個人面接	推薦Ⅰ	○		○	○		
	推薦Ⅱ	○		○			
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○	○		○		○
学びの設計書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ		○	○			
調査書	一般（前期） 一般（後期）				(総合判定の参考)		
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○					○

1 障がいのある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、以下のとおり入試課に申請してください。

申請後、入試課から回答文書を送付しますので、出願する際はその写しを出願書類と併せて提出してください。

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

(1) 期 限

令和6年1月15日（月）まで

(2) 方 法

詳細は、本学ホームページ受験生サイトを確認してください。「徳島大学入学試験における事前相談内容」を出力し、必要事項を記入の上、提出してください。



受験生サイト

<https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/>

2 大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除

本学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、入学者選抜において、以下のとおり検定料免除の特例措置を講じます。

(1) 免除対象となる入学者選抜

一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜

(2) 措置内容

検定料（17,000円 夜間主10,000円）の免除

(3) 免除対象者

- ① 東日本大震災及び令和5年度に災害救助法適用地域において被災した志願者で、次のいずれかに該当する者
 - ア 主たる学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失の被害を受けた場合
 - イ 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合
- ② 居住地が、福島第一原子力発電所の事故により、警戒区域又は計画的避難区域に指定された者

(4) 申請方法等

申請方法、申請書類等は、本学ホームページ受験生サイトを確認してください。

3 検定料の返還

納入された検定料は、原則返還しません。

ただし、次のいずれかに該当する場合は検定料の全額又はその一部を返還します。

- ① 出願書類が受理されなかった場合
- ② 検定料を払い込んだが、出願書類を提出しなかった場合
- ③ 検定料を二重に払い込んだ場合
- ④ 第一段階目の選抜の結果、不合格となった場合
- ⑤ 出願受付後に本学の出願無資格者であることが判明した場合
- ⑥ 試験当日に「新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）」第2条第1号に規定する「新型インフルエンザ等」を発症した疑いがあるため、本学が受験を拒否した場合

①～③に該当する場合は全額、④～⑥に該当する場合はその一部（総合科学部、医学部、歯学部、薬学部、理工学部（昼間）、生物資源産業学部は13,000円、理工学部（夜間主）は7,800円）を返還します。

①の該当者については、出願書類を返送する際に併せて通知します。

②～⑥の該当者は、申請方法、申請書類等について本学ホームページ受験生サイトを確認の上、令和6年3月29日（金）までに申請してください。

なお、検定料返還の手続には、返還請求書到着後2か月程度かかる場合があります。

4 入試過去問題の使用

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のURLをご覧ください。



<https://www.nyushikakomon.jp/>

一 般 選 抜

5 募集人員

学 部	学 科 等	募 集 人 員		
		前期日程	後期日程	
総合科学部	社会総合科学科	85人	20人	
医学部	医 学 科	62人	/	
	医 科 栄 養 学 科	25人		
	保健学科	看 護 学 専 攻	40人	10人
		放 射 線 技 術 科 学 専 攻	21人	8人
		検 査 技 術 科 学 専 攻	12人	
	学部計		160人	18人
歯学部	歯 学 科	24人	6人	
	口 腔 保 健 学 科	6人	4人	
	学部計		30人	10人
薬学部	薬 学 科	50人	20人	
理工学部	理 工 学 科 (昼 間)	315人	92人	
	履修コース	数 理 科 学 コ ー ス	(19人)	(5人)
		自 然 科 学 コ ー ス	(20人)	(5人)
		社 会 基 盤 デ ザ イン コ ー ス	(41人)	(12人)
		機 械 科 学 コ ー ス	(59人)	(22人)
		応 用 化 学 シ ス テ ム コ ー ス	(37人)	(15人)
		電 気 電 子 シ ス テ ム コ ー ス	(61人)	(13人)
		知 能 情 報 コ ー ス	(40人)	(10人)
		光 シ ス テ ム コ ー ス	(23人)	(10人)
	医光/医工融合プログラム		15人	
	理 工 学 科 (夜 間 主)	45人		
	履修コース	社 会 基 盤 デ ザ イン コ ー ス	(10人)	/
		機 械 科 学 コ ー ス	(10人)	
		応 用 化 学 シ ス テ ム コ ー ス	(5人)	
電 気 電 子 シ ス テ ム コ ー ス		(10人)		
	知 能 情 報 コ ー ス	(10人)		
生物資源産業学部	生 物 資 源 産 業 学 科	48人	22人	
合 計		733人	182人	

- (注) 1 総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、不足人員を一般選抜で補充します。
 2 学校推薦型選抜(推薦I)、帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員「若干人」は、募集する学科・専攻・コースの前期日程の募集人員に含まれますので、前期日程の募集人員が減少することがあります。
 3 理工学部理工学科の履修コースの()内の数は、各コースのおおよその人数です。

6 出願資格

本学に入学を志願することができる者は、次の(1)~(8)のいずれかに該当し、かつ、令和6年度大学入学共通テストのうち本学が指定した全教科・科目を受験した者としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育若しくは通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者又は令和6年3月修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和6年3月修了見込みの者又はこれに準ずる

る者で文部科学大臣の指定したものと

- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和6年3月修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和6年3月修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者又は廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和6年3月31日までに18歳に達するもの

(注) (8)の出願資格認定については、本学ホームページ受験生サイトを参照、又は入試課に照会してください。申請期限に注意してください。

なお、本学が認定した出願資格は、本学に限り有効です。

7 選抜方法

(1) 選抜方式

- ① 本学の一般選抜は、分離分割方式の前期日程及び後期日程で実施します。選者にあたっては、大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して判定します。
なお、合格者となるには、本学が実施する個別学力検査等をすべて受験する必要があります。
- ② 同選抜で本学に入学を志願する者は、令和6年度大学入学共通テストのうち本学が指定した全教科・科目を受験しておく必要があります。指定した教科・科目を受験せず本学に出願した者は無資格者となりますので、本学の個別学力検査等を受験することはできません。
なお、本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。
- ③ 本学では、同一学部、異なる学部・学科を問わず、前期日程と後期日程に併願することができます。
- ④ 一般選抜における調査書の活用方法については、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）の各学部・学科・専攻の「入学者選抜方法における選抜内容」に明記していますので確認してください。

(2) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

- ① 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニング」を含みます。
「英語」の成績は、リーディング（100点満点）を200点、リスニング（100点満点）を50点に換算し、総合計250点満点を各学科等が定めている配点に換算します。ただし、リスニングを免除された受験者については、他の外国語の科目受験者と同様にリーディングの得点のみ利用します。
- ② 「地理歴史」、「公民」及び「理科」について1科目が課されている場合、2科目受験者については、「第1解答科目」の成績を採用します。
ただし、出願する学部等が指定する科目を「第1解答科目」で受験しておらず、「第2解答科目」で受験している場合は、当該利用教科を受験したものと見なしますが、成績は「0点」とします。
- ③ 理科の科目選択方法は、次のとおりです。
大学入試センターが定めているA～Dの出題科目の選択方法に基づくものです。
なお、実際に選択可能な方法及び科目は学部等毎で異なり、個別に指定があります。
A：基礎を付した科目群から2科目選択
B：基礎を付していない科目群から1科目選択
C：基礎を付した科目群から2科目選択及び基礎を付していない科目群から1科目選択の合計3科目選択
D：基礎を付していない科目群から2科目選択
- ④ 2科目を課す教科の配点は、合計得点を表記しており、特に指定がない限りそれぞれの配点は同点とします。
- ⑤ 専門学科に関する科目について
「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を利用することとしている学科等において、当該科目を選択できる者は、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する

ものとして認定した在外教育施設を含む。)の専門学科及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した(見込みを含む。)者に限ります。

(3) 個別学力検査等の内容について

① 個別学力検査における各教科・科目等の出題範囲は次のとおりです。

教科	科目	出題範囲
国語	国語	「国語総合」, 「現代文A」, 「現代文B」, 「古典A」, 「古典B」
数学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	全範囲
	数学A	全範囲
	数学B	「数列」, 「ベクトル」
理科	物理基礎・物理	全範囲
	化学基礎・化学	全範囲
	生物基礎・生物	全範囲
外国語	英語	「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」 ※「読むこと」, 「書くこと」に関する出題を行う。
	総合問題	日本語で書かれた文章や図表等により, 下記の力を問う記述・論述式の出題を行います。 ①化学(化基・化)に関する基礎学力と思考・判断力(実験データの解析力等を問う場合あり) ②現代の社会における諸問題(バイオテクノロジー, 食料, 農業等で抱える問題)や生物資源産業への深い関心と, 自らの考えを表現する力 ※②は小論文の要素を含めた出題

② 面接等は次のとおり実施します。なお, 点数化していない面接等は, 総合判定とします。

前期日程		
医学部	医学科	複数の面接担当者による集団面接を行います。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ, 集団面接では, アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い, 合否を判定します。従って, 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となる場合があります。
	保健学科 看護学専攻	
	放射線技術 科学専攻	
	医科栄養学科	複数の面接担当者による個人面接を行います。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ, 個人面接ではアドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い, 合否を判定します。従って, 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となる場合があります。
歯学部	歯学科	複数の面接担当者による個人面接を行い, 提出書類等の確認をする場合があります。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ, 個人面接では, アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い, 合否を判定します。従って, 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となる場合があります。
	口腔保健学科	
薬学部	薬学科	複数の面接担当者による集団面接を行い, 提出書類等の確認をする場合があります。本学部が真に求める入学者を選抜することを踏まえ, 集団面接では, アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い, 合否を判定します。従って, 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となる場合があります。
生物資源 産業学部	生物資源産業学科	複数の面接担当者による集団面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い, 提出書類等の確認を行う場合があります。

後 期 日 程			
医 学 部	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	【集団討論】※看護学専攻のみ 複数の評価担当者による集団討論を行います。試験室で提示されたテーマをもとに討論を行います。
		放 射 線 技 術 科 学 専 攻	【個人面接】※看護学専攻、放射線技術科学専攻 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行います。提出書類などの内容を確認する場合があります。
歯 学 部	歯 学 科	口 腔 保 健 学 科	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。
	薬 学 部		

③ 小論文は次のとおり実施します。

後 期 日 程		
総合科学部	社会総合科学科	社会的な課題に関する基礎的な能力（関心、理解力、表現力）を判定します。
医 学 部	保 健 学 科 (看護学専攻・放射線技術科学専攻)	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行います。
歯 学 部	歯 学 科	日本語及び英語で書かれた文章や図表等をもとに、現代の社会における諸問題について考察し、みずからの考えを表現する出題を行います。

④ 志望理由書は次のとおり取り扱います。

前 期 日 程		
医 学 部	保 健 学 科 検査技術科学専攻	アドミッション・ポリシーに基づいて総合的に評価を行い、合否を判定します。

後 期 日 程		
薬 学 部	薬 学 科	アドミッション・ポリシーに基づいて評価を行い、合否を判定します。

⑤ 志望調書は次のとおり取り扱います。

後 期 日 程		
理 工 学 部	理 工 学 科	志望理由等に関連したテーマ・問題で作成した志望調書（300字以内）について、アドミッション・ポリシーに基づいて評価します。

(4) 2段階選抜について

① 実施について

医学部医学科、歯学部歯学科及び薬学部においては、次のとおり2段階選抜を行います。

2段階選抜を実施する場合は、令和6年度大学入学共通テストにおいて各学部・学科等が指定する教科・科目の成績等により下記の日程で第1段階選抜を行います。

選 抜 区 分	日 程
前期日程	令和6年2月13日(火)
後期日程	令和6年2月28日(水)

1. 医学部医学科

試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学科の指定する各科目の合計点が600点(配点合計900点満点(傾斜後の配点))に達していない場合は2段階選抜を実施します。また、600点以上に達していても入学志願者数が募集人員の5倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。

2. 歯学部歯学科

試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、以下に定める倍率を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。

(前期日程)：8倍 (後期日程)：25倍

3. 薬学部

前期日程の試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、5倍を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。

後期日程の試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学部の指定する各科目の合計点が500点(配点合計750点満点(傾斜後の配点))に達していない場合は2段階選抜を実施します。また、500点以上に達していても入学志願者数が10倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。

② 2段階選抜実施の有無について

医学部医学科、歯学部歯学科及び薬学部の2段階選抜実施の有無については、前・後期日程とも令和6年2月13日(火)16時以降に、本学ホームページにより発表します。

③ 第1段階選抜結果の通知

医学部医学科、歯学部歯学科及び薬学部において2段階選抜を実施した場合は、第1段階選抜の合格者には合格通知書を、不合格者には不合格通知書を、下記の日程で送付します。

選 抜 区 分	発送予定日
前期日程 (医学部医学科, 歯学部歯学科, 薬学部)	令和6年2月13日(火)
後期日程 (歯学部歯学科, 薬学部)	令和6年2月28日(水)

(5) 入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等		総合科学部 社会総合科学科					
日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等			
	教科	科目等			教科等	科目等	
前期	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1又は0 } 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1			国 外	国 英	
後期	理 外	物基, 化基, 生基, 地学基, } から1又は2 物, 化, 生, 地学 (科目選択方法A～D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科又は6教科/7科目又は8科目)			その他	小論文	

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理		歴 史		公 民			数 学 ①		数 学 ②				理 科 ①			理 科 ②				外 国 語									
	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 Ⅰ	数 学 Ⅰ ・ 数 学 A	数 学 Ⅱ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語 [リス ニング 含む]	ド イ ツ ッ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	
◎ □	× ○	○ ×	× ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
	□又は□				□又は□				□	□				□				□												
	□													□																
														□																
														□																
														□																

・理科は、科目選択方法A～Dが利用対象となります。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点と基礎を付さない1科目の得点を比較し、得点の高い方を利用します。科目選択方法Dで受験した場合は、「第1解答科目」の得点を利用します。

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計	
前 期	大学入学共通テスト	パターン①	200	100	300	100	200		900	
		パターン②	200	200	100	100	300		900	
		パターン③	200	300	100	100	200		900	
	個別学力検査	計	200					200		400
		パターン①	400	100	300	100	400			1,300
		パターン②	400	200	100	100	500			1,300
パターン③	400	300	100	100	400			1,300		
後 期	大学入学共通テスト	200	200		200	100	200		900	
	個別学力検査							400	400	
	計	200	200		200	100	200	400	1,300	

・配点は、パターン①～③のうち、高得点となるパターンを採用します。

学部・学科等 医 学 部 医 学 科

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科 目 等		教科等	科 目 等
前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 (科目選択方法D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)		数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 英 集団面接

・2段階選抜について

大学入学共通テストの成績において、本学科の指定する各科目の合計点が600点（配点合計900点満点（傾斜後の配点））に達していない場合は、2段階選抜を実施します。また、600点以上に達していても、入学志願者数が募集人員の5倍を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理		歴 史		公 民			数 学 ①		数 学 ②				理 科 ①				理 科 ②		外 国 語									
国 語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 Ⅰ	数 学 Ⅱ	数 学 Ⅲ	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 理 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 理	英 語 [リスニング含む]	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	
◎ □	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	◎ □	×	○	○	○	科目選択方法D				○	○	○	○	×	○	○	○	○
	□											□									□								

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	150	50		200	300	200		900
	個別学力検査				200		200	◎	400
	計	150	50		400	300	400		1,300

・◎印を付し点数化していない面接は、総合判定とします。

・合格者の最低点において、大学入学共通テスト、個別学力検査等の得点合計が同点の場合、次の順番で点数の高い者を合格とします。

(1)個別学力検査等の合計点 (2)個別学力検査等の数学の得点

学部・学科等 医 学 部 医 科 栄 養 学 科

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科 目 等	教科等	科 目 等	
前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, } から1又は2 物, 化, 生 (科目選択方法A～D) [5教科6科目又は7科目]	外 その他	英 個人面接	

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理 歴 史		公 民		数 学 ①		数 学 ②				理 科 ①				理 科 ②				外 国 語												
国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 Ⅰ	数 学 Ⅰ ・ 数 学 A	数 学 Ⅱ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語 リ ス ニ ン グ 書 色	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語		
◎ □	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	◎ □	×	○	○	○	○	○	○	○	×	□	□	□	□	□	○	○	○	○	○
	□										□	□				科目選択方法A				□											
	□										□	□				科目選択方法B				□											
	□										□	□				科目選択方法C (部分利用)				□											
	□										□	□				科目選択方法D (部分利用)				□											

・理科は、科目選択方法A～Dが利用対象となります。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点と基礎を付さない1科目の得点を比較し、得点の高い方を利用します。科目選択方法Dで受験した場合は、「第1解答科目」の得点を利用します。

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	100		650
	個別学力検査						200	200	400
	計	100	50		200	200	300	200	1,050

学部・学科等 医学部保健学科看護学専攻

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等		
	教科	科目等	教科等	科目等		
前期	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	外 その他	英 集団面接		
後期	理 外	物基, 化基, 生基, } から2 物, 化, 生 } (科目選択方法A, C, D) ※『生基』又は『生』は必ず選択 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	その他	個人面接, 集団討論 小論文		

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理 歴 史		公 民			数 学 ①		数 学 ②			理 科 ①			理 科 ②			外 国 語												
国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 Ⅰ ・ 数 学 A	数 学 Ⅱ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 球 学 基 礎	物 理 学	化 学	生 物 学	地 球 学	英 語 [リスニング 含む]	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	
◎ □	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□										□		□			□			□										
													科目選択方法A																
													科目選択方法C(部分利用)			利用せず													
													科目選択方法D(部分利用)																

・理科は、科目選択方法A, C, Dが利用対象となります。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点を利用します。

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	集団討論	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	100		200	200	100				700
	個別学力検査						200		◎		200
	計	100	100		200	200	300				900
後 期	大学入学共通テスト	20	20		40	60	60				200
	個別学力検査							100	100		200
	計	20	20		40	60	60	100	100		400

・◎印を付し点数化していない面接は、総合判定とします。

・個別学力検査等におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合、合計点のいかにかわらず不合格とします。

学部・学科等 医学部保健学科検査技術科学専攻

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科目等		教科等	科目等
前期	国 地歴 公民 数 理 外	国世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 (科目選択方法D) ※『化』は必ず選択 (5教科7科目)		数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 英 志望理由書

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理 歴 史		公 民				数 学 ①		数 学 ②			理 科 ①			理 科 ②			外 国 語											
国 語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 Ⅰ ・ 数 学 A	数 学 Ⅱ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語 [フ リ ン グ 言 語]	ド イ ッ シ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	
◎ □	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎ □	×	○	○	○									○	○	○	○	○
	□											□			科目選択方法D						□								
	□											□			□						□								

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	志望理由書	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	100		100	300	100		700
	個別学力検査				200		200	◎	400
	計	100	100		300	300	300		1,100

・◎印を付し点数化していない志望理由書は、総合判定とします。

学部・学科等 歯 学 部 歯 学 科

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科 目 等		教科等	科 目 等
前期	国 地歴 公民 数 理	国世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2		数 理 外 英 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化, } から1 生基・生 個人面接
後期	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (科目選択方法D) [5教科7科目]		その他	個人面接 小論文(日本語及び英語)

- ・2段階選抜について
 入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、以下に定める倍率を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。
 前期日程：8倍 後期日程：25倍
- ・個別学力検査等において、出願時に選択した「理科」の科目について、出願後の変更は認めません。なお、科目選択による不公平が生じないように得点調整を行うことがあります。

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理		歴 史		公 民				数 学①		数 学 ②				理 科 ①				理 科 ②				外 国 語						
国 語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 Ⅰ	数 学 Ⅰ ・ 数 学 A	数 学 Ⅱ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理 学	化 学 物 理	生 物 学	地 学	英 語 リ ス ニ ン グ 言 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
◎ □	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	◎ □	×	○	○	○	+	+	+	+	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	□										□										□				□				
											科目選択方法D																		

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		100	200	100			550
	個別学力検査				200	100	200		◎	500
	計	100	50		300	300	300			1,050
後 期	大学入学共通テスト	100	50		100	100	100			450
	個別学力検査							200	◎	200
	計	100	50		100	100	100	200		650

- ・◎印を付し点数化していない面接は、総合判定とします。

学部・学科等 歯学部 □ 口腔保健学科

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目		個別学力検査等	
	教科	科目等	教科等	科目等
前期	国 地歴 公民 数 理	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, } から2 物, 化, 生	外 その他	英 個人面接
後期	外	(科目選択方法A, C, D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	その他	個人面接

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理 歴 史		公 民				数 学 ①		数 学 ②				理 科 ①				理 科 ②				外 国 語									
国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 Ⅰ	数 学 Ⅰ ・ 数 学 A	数 学 Ⅱ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 理 基 礎	物 理 学	化 学	生 物 学	地 理 学	英 語 〔 リス ニング 含む 〕	ド イ ッ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	
◎ □	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□				□				□				□				□				□									
	科目選択方法A												科目選択方法C(部分利用)				科目選択方法D													
	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○												○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									
	□												□				□				□				□					
	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○												○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									
	□												□				□				□				□					
	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○												○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									
	□												□				□				□				□					

・理科は、科目選択方法A, C, Dが利用対象となります。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点を利用します。科目選択方法Dで受験した場合は、合計得点(200点満点)を100点満点に換算した上で利用します。

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		100	100	100		450
	個別学力検査						200	◎	200
	計	100	50		100	100	300		650
後 期	大学入学共通テスト	100	50		100	100	100		450
	個別学力検査							150	150
	計	100	50		100	100	100	150	600

・◎印を付し点数化していない面接は、総合判定とします。

学部・学科等 薬 学 部 薬 学 科

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科 目 等		教科等	科 目 等
前期	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	(科目選択方法D) 〔5教科7科目〕	数理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 化基・化 集団面接
後期	理 外	物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1		理 その他	化基・化 集団面接, 志望理由書

・2段階選抜について

前期日程では、入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、5倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。
後期日程では、大学入学共通テストの成績において、本学部の指定する各科目の合計点が500点(配点合計750点満点(傾斜後の配点))に達していない場合は、2段階選抜を実施します。また、500点以上に達していても、入学志願者数が10倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理		歴 史		公 民				数 学 ①		数 学 ②				理 科 ①				理 科 ②				外 国 語					
国 語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 Ⅰ ・ 数 学 A	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 球 学 基 礎	物 理 学	化 学	生 物 学	地 球 学	英 語 Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	
◎ □	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	× ◎	× ◎	× ◎	× ◎	+	+	+	+	+	+	+	+	○	○	○	○	○	○
	□									□				科目選択方法D				□										

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	志望理由書	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		100	100	200			550
	個別学力検査					200		◎		400
	計	100	50		300	300	200			950
後 期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	200			750
	個別学力検査					400		◎	◎	400
	計	100	50		200	600	200			1,150

・◎印を付し点数化していない面接及び志望理由書は、総合判定とします。

学部・学科等 理工学部理工学科（昼間）全コース（自然科学コースを除く。）

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科目等		教科等	科目等
前期	国 地歴 公民 数 理	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化		数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, } から1 化基・化 }
後期	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (科目選択方法D) 〔5教科7科目〕		数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調書

・個別学力検査等において、出願時に選択した「理科」の科目について、出願後の変更は認めません。なお、科目選択による不公平が生じないように得点調整を行うことがあります。

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理		歴 史		公 民				数 学 ①		数 学 ②				理 科 ①			理 科 ②			外 国 語												
国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 Ⅰ	数 学 Ⅰ ・ 数 学 A	数 学 Ⅱ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語 [リス ニング 含む	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語				
◎ □	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	◎ □	×	◎ □	×	×										◎ □	◎ □	◎ □	◎ □	◎ □			
	□																科目選択方法D																
	□																																

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	志望調書	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	200		750
	個別学力検査				300	200			500
	計	100	50		500	400	200		1,250
後 期	大学入学共通テスト	100	50		150	200	150		650
	個別学力検査				350			25	375
	計	100	50		500	200	150	25	1,025

・選抜方法について

【前期日程】

出願できる志望コースは、1コースのみです。

【後期日程】

出願時に第1志望とするコースのほか、第2志望のコースを任意で選択できます。第2志望のコースを選択しない場合は、第1志望のコースのみで合否判定を行います。

・合格者の決定と1年入学時におけるコース配属について

【後期日程】

大学入学共通テストと個別学力検査等の成績により、各コースの合格者が決まります。コースごとに第1志望者及び第2志望者（選択者のみ）を成績順に並べ、成績上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。第1志望又は第2志望（選択者のみ）のいずれかのコースに合格すれば、1年入学時に合格したコースへ配属します。

学部・学科等 理工学部理工学科（昼間）自然科学コース

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科目等		教科等	科目等
前期	国 地歴 公民 数 理	国世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生, 地学から2		数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, } から1 化基・化, 生基・生
後期	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (科目選択方法D) [5教科7科目]		数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調書

・個別学力検査等において、出願時に選択した「理科」の科目について、出願後の変更は認めません。なお、科目選択による不公平が生じないように得点調整を行うことがあります。

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理 歴 史		公 民				数 学 ①		数 学 ②			理 科 ①			理 科 ②			外 国 語									
国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会 理	倫 理 ・ 政 治 ・ 政 経	倫 理 ・ 政 治 ・ 政 経	数 学 Ⅰ ・ 数 学 A	数 学 Ⅱ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理 学	化 学	生 物 学	地 学	英 語 [リス ニング 含む]	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
◎ □	× □	○ □	× □	○ □	× □	○ □	○ □	○ □	○ □	× ◎ □	× ◎ □	× ◎ □	× ◎ □	× ◎ □	科目選択方法D				○ □	○ □	○ □	○ □	○ □	○ □	○ □	○ □	○ □

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	志望調書	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	200		750
	個別学力検査				300	200			500
	計	100	50		500	400	200		1,250
後 期	大学入学共通テスト	100	50		150	200	150		650
	個別学力検査				350			25	375
	計	100	50		500	200	150	25	1,025

・選抜方法について

【前期日程】

出願できる志望コースは、1コースのみです。

【後期日程】

大学入学共通テストの理科で物理と化学を選択した者は、出願時に第2志望のコースを任意で選択できます。第2志望のコースを選択しない場合は、第1志望のコースのみで合否判定を行います。

・合格者の決定と1年入学時におけるコース配属について

【後期日程】

大学入学共通テストと個別学力検査等の成績により、各コースの合格者が決まります。コースごとに第1志望者及び第2志望者（選択者のみ）を成績順に並べ、成績上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。第1志望又は第2志望（選択者のみ）のいずれかのコースに合格すれば、1年入学時に合格したコースへ配属します。

学部・学科等 理工学部理工学科（昼間）医光 / 医工融合プログラム

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科目等		教科等	科目等
前期	国 地歴 公民 数 理 外	国世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化 (科目選択方法D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]		数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, } から1 化基・化 }

・個別学力検査等において、出願時に選択した「理科」の科目について、出願後の変更は認めません。なお、科目選択による不公平が生じないように得点調整を行うことがあります。

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地理歴史		公民				数学①		数学②			理科①			理科②			外国語													
国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅲ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理学	化学	生物学	地学	英語(リスニング含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語			
◎ □	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	◎ □	×	◎ □	×	×	+	+	+	+	◎ □	◎ □	×	×	○	○	○	○	○			
	□															科目選択方法D															
	□																					□									

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
前期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	200	750
	個別学力検査				300	200		500
	計	100	50		500	400	200	1,250

・医光 / 医工融合プログラムは、理工学部と医学部及び関連研究所による学部等横断型の特別プログラムです。
 ・当プログラムは、大学卒業又は大学院（創成科学研究科，医学研究科）修了まで一貫した教育体制を取っています。入学から卒業又は修了まで当プログラムに所属し、教育・指導を受けることになりますので、入学後の他コースへの変更は認めません。

学部・学科等 理工学部理工学科（夜間主）全コース

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科目等		教科等	科目等
前期	国 地歴 公民 数 理 外	国世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化 (科目選択方法D) 〔5教科7科目〕 英, 独, 仏, 中, 韓から1		数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, } から1 化基・化 }

・個別学力検査等において、出願時に選択した「理科」の科目について、出願後の変更は認めません。なお、科目選択による不公平が生じないように得点調整を行うことがあります。

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理 歴 史		公 民		数 学 ①		数 学 ②			理 科 ①			理 科 ②			外 国 語															
国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 Ⅰ	数 学 Ⅰ ・ 数 学 A	数 学 Ⅱ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語 [リス ニング 含む]	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語		
◎ □	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	◎ □	×	◎ □	×	×	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	□										□	□	科目選択方法D			□			□												

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		200	200	200	750
	個別学力検査				200	100		300
	計	100	50		400	300	200	1,050

・出願できる志望コースは、1コースのみです。

学部・学科等	生物資源産業学部生物資源産業学科
--------	------------------

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科目等		教科等	科目等
前期	国 地歴 公民 数 理	国世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2		理 その他	化基・化 集団面接
後期	外	英	(科目選択方法D) ※『化』は必ず選択 [5教科7科目]	総合	総合 (化基, 化を含む)

【大学入学共通テスト利用教科・科目確認表】

(◎印は必ず受験しなければならない科目, ○印は選択科目, □囲みの数字は成績利用科目数を示します。)

国語	地 理		歴 史		公 民				数 学 ①		数 学 ②				理 科 ①				理 科 ②				外 国 語							
国語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	数 学 Ⅰ ・ 数 学 A	数 学 Ⅱ	数 学 Ⅱ ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語 [ラ ス ニ ン グ 含 む]	ド イ ッ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語		
◎ □	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎ □	×	◎ □	×	×								○ ◎ □	◎ □	×	×	×	×	
	□															科目選択方法D														

【大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点表】

日程	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	面接	配点合計
前 期	大学入学共通テスト	100	50		150	150	200			650
	個別学力検査					200			150	350
	計	100	50		150	350	200		150	1,000
後 期	大学入学共通テスト	50	50		200	200	200			700
	個別学力検査							300		300
	計	50	50		200	200	200	300		1,000

- ・前期日程の理科については、「化学」必須50点、「物理」「生物」から1(100点)とします。
- ・後期日程で実施する総合問題における得点が一定水準以下の場合、合計点のいかんにかかわらず不合格とします。

(6) 試験実施日時及び場所

① 前期日程

ア 薬学部は、前期日程のみ常三島キャンパスで入学試験を行いますので、注意してください。

イ 試験開始30分前までに試験室へ入室し、着席してください。

ウ 試験開始後20分以上経過した遅刻者は、受験できません。また、面接では各学部が指定する集合時間に遅れた場合は、受験できません。

エ 1科目目を受験しなかった者は、2科目目以降も受験できません。

オ 試験開始から終了まで退室は認めません。ただし、試験中の発病、用便等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。

カ 志願者が多数となった場合は、下記以外の施設を試験場とすることがあります。

学 部	学科・専攻	試験実施日時				試験実施場所
		2月25日(日)		2月26日(月)		
総 合 科学部	社会総合 科学科	国 語	外国語(英語)	/	/	《常三島キャンパス》 総合科学部 徳島市南常三島町 1丁目1番地
		9:30~11:00	13:00~14:10			
薬学部	薬学科	数 学	理 科	/	面 接	
		9:30~11:30	13:50~15:20		9:30~	
生物資源 産業学部	生物資源 産業学科	/	理 科	/	面 接	
			13:50~15:20		9:00~	
理工学部 (昼間)	理工学科	数 学	理 科	/	/	《常三島キャンパス》 理工学部 徳島市南常三島町 2丁目1番地
		9:30~11:30	13:50~15:20			
理工学部 (夜間主)	理工学科	数 学	理 科	/	/	
		9:30~11:30	13:50~15:20			
医学部	医学科	数 学	外国語(英語)	/	面 接	
		9:30~11:30	13:00~14:10		9:30~	
	医科栄養学科	/	外国語(英語)	/	面 接	
			13:00~14:10		9:30~	
	保健学科 看護学専攻	/	外国語(英語)	面 接	/	
		13:00~14:10	15:00~			
保健学科 放射線技術 科学専攻	数 学	理 科	面 接			
		9:30~11:30	13:50~15:20	15:50~		
保健学科 検査技術 科学専攻	数 学	外国語(英語)	/	/	/	
		9:30~11:30	13:00~14:10			
歯学部	歯学科	数 学	外国語(英語)	理 科	面 接	《蔵本キャンパス》 歯学部 徳島市蔵本町3丁目 18番地の15
		9:30~11:30	13:00~14:10	15:00~16:30	9:30~	
	口腔保健学科	/	外国語(英語)	面 接	/	
			13:00~14:10	15:00~		

② 後期日程

- ア 試験開始30分前までに試験室へ入室し、着席してください。
- イ 試験開始後20分以上経過した遅刻者は、受験できません。また、面接では各学部が指定する集合時間に遅れた場合は、受験できない場合があります。
- ウ 1科目目を受験しなかった者は、2科目目以降も受験できません。
- エ 試験開始から終了まで退室は認めません。ただし、試験中の発病、用便等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- オ 志願者が多数となった場合は、下記以外の施設を試験場とすることがあります。

学 部	学科・専攻	試験実施日時		試験実施場所
		3月12日（火）		
総合科学部	社会総合科学科	小論文	/	《常三島キャンパス》 総合科学部 徳島市南常三島町 1丁目1番地
		10:00～12:00		
生物資源産業学部	生物資源産業学科	総合問題	/	
		10:00～11:30		
理工学部（昼間）	理工学科	数 学	志望調書	《常三島キャンパス》 理工学部 徳島市南常三島町 2丁目1番地
		9:00～10:30	11:20～12:00	
医学部	保健学科 看護学専攻	小論文	面 接	《蔵本キャンパス》 医学部 徳島市蔵本町3丁目 18番地の15
		10:00～11:00	12:30～	
	保健学科 放射線技術科学専攻	小論文	面 接	
		10:00～11:00	12:30～	
歯学部	歯学科	小論文	面 接	《蔵本キャンパス》 歯学部 徳島市蔵本町3丁目 18番地の15
		9:30～11:30	13:00～	
	口腔保健学科	面 接	/	
		9:30～		
薬学部	薬学科	理 科	面 接	《蔵本キャンパス》 薬学部 徳島市庄町1丁目 78番地の1
		9:00～11:00	12:30～	

8 出願手続

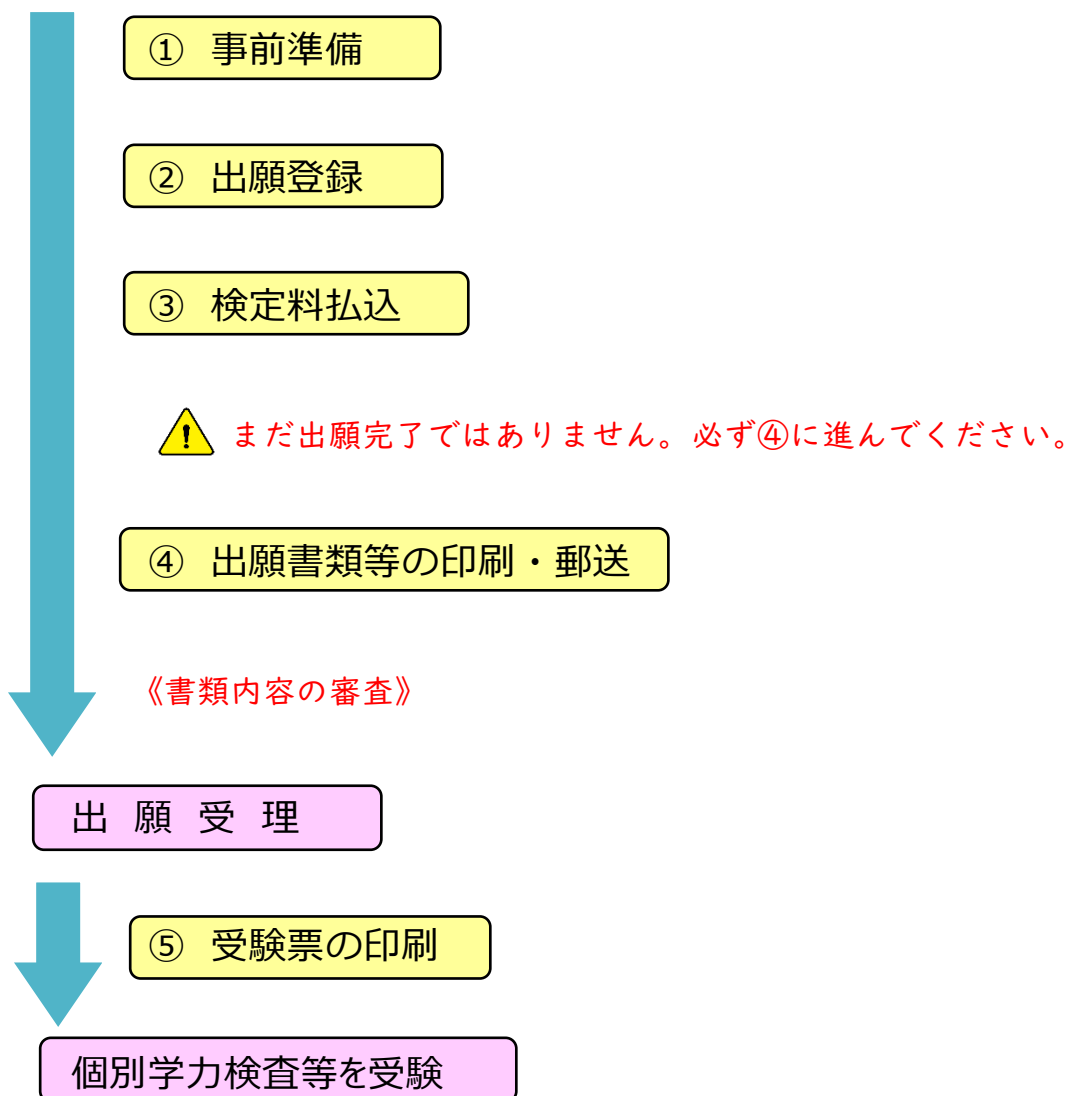
インターネット出願サイトで登録し、出願書類等を郵送することで出願となります。

次の①～④をすべて期間内に完了してください。インターネットで入力完了していても、出願書類等が期限までに到着しない場合は、出願を受理することができません。

出願期間を十分に確認の上、できるだけ余裕をもって手続してください。

ご家庭にインターネットを利用できる環境がない場合は、学校、図書館等のセキュリティ対策が信頼できる場所での利用を推奨します。また、お近くにそれらの環境がない場合は、出願締切日5日前までに入試課に相談してください。

■インターネット出願の流れ



(1) 一般選抜 郵送が必要な出願書類等

※前期日程、後期日程ともに出願する場合は、それぞれに手続きが必要です。

書類等の種別	該当者	取得方法	記入方法、注意事項等
入学願書	全 員	検定料支払手続完了後に、インターネット出願サイトから取得してください。	写真データの取込みが必要です。詳細は、ガイダンス画面を確認してください。 大学入学共通テスト受験票に添付されている共通テスト成績請求票の「 前 国公立前期日程用」及び「 後 国公立後期日程用」のうち、受験する試験日程に応じたものを入学願書に貼ってください。誤った成績請求票を貼ったものは、受理しません。
調査書	全 員	各高等学校で準備してください。	出身高等学校の長が、文部科学大臣の定めた様式により作成してください。※注意事項参照
志望理由書	医学部保健学科検査技術科学専攻及び薬学部後期日程の志願者	本学ホームページの「インターネット出願」から取得してください。	[記入上の注意] に留意の上、所定の用紙に志願者本人が <u>自筆</u> で書いてください。
出願書類提出用封筒	全 員	角形型2号封筒(240ミリ×332ミリ)を自分で準備してください。	「入学願書送付先PDF」を出力し、必要事項を記入の上、封筒表面に貼ってください。 上記の郵送が必要な出願書類等を入れ、 簡易書留速達 で送付できる料金分の切手を貼って、送付してください。
障がいのある入学志願者との事前相談回答文書(写し)	申請者のみ	申請された方には、入試課から回答文書を送付します。	回答文書の写しを上記出願書類と併せて提出してください。

※調査書準備にかかる注意事項

調査書は、文部科学大臣が定めた様式により、出身高等学校の長に作成していただく書類です。各高等学校で準備したものを厳封したまま、受験者が出願書類に同封して提出してください。開封済み又は厳封されていない場合は、出願を受理できません。

なお、改姓等により入学願書と調査書の氏名が異なる場合は、改姓等を証明する書類を併せて提出してください。

○高等学校教員の方へ

- ・大学入学者選抜実施要項における「調査書記入上の注意事項等について」に準拠して作成し、厳封してください。本学では、全選抜において調査書に特別な記述を求めることや、調査書の参考となる資料の提出を求めることはありません。
- ・学習成績概評が **Ⓐ** に該当する場合は、その旨表示し、「備考」欄にその理由を必ず明示してください。

○出願時に調査書を提出できない方へ

出願時に調査書を提出できない方は、以下の書類を提出してください。

なお、改姓等により入学願書と提出書類の氏名が異なる場合は、改姓等を証明する書類を併せて提出してください。

- ① 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）合格者は、「合格成績証明書」を提出してください。免除科目がある場合は、その科目を修得した高等学校の「調査書」又は「成績証明書」が必要になります。
- ② 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、「修了（見込）証明書」及び「成績証明書」を提出してください。
- ③ 上記①及び②のほか、保存期間の経過等により調査書が発行できない場合は、概ね以下のとおりとします。
 - ・卒業後5年以内－調査書
 - ・卒業後5年～20年－単位取得証明書
 - ・卒業後20年以上－卒業証明書

(2) 出願に際しての注意事項

- ① 国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の入学者選抜は、「分離分割方式」により実施されます。志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部並びに「後期日程」及び「中期日程」で試験を実施する大学・学部それぞれ1つずつ出願することができます。したがって、「前期－前期」、「後期－後期」の併願はできません。なお、本学への出願については、同一又は異なる学部・学科等を問わず、「前期日程」と「後期日程」に併願することができます。
- ② 国公立大学の学校推薦型選抜及び総合型選抜に合格した者は、当該大学・学部の定める方法により入学辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学の一般選抜等を受験しても合格者となりません。
- ③ 国公立大学の前期日程に合格し、前期日程入学手続期間内に入学手続を行った者は、後期日程試験を受験しても合格者となりません。
- ④ 出願書類等に次のような不備がある場合は、受理できません。
 - ・記入漏れや誤記入のあるもの
 - ・必要な出願書類等が添付されていないもの
- ⑤ 出願受理後は、出願の取消し、書類の返却及び記載事項の変更を認めません。また、領収した検定料は、「3 検定料の返還」に該当する場合を除き、返還しません。
- ⑥ 出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については、入学後であっても、入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑦ 出願時に登録する住所は、志願者本人と確実に連絡できる場所を記入してください。追加合格を実施する際には、登録された連絡先に電話により通知し、入学の意志を確認します。

なお、出願書類等の送付後に連絡先を変更する場合は、速やかに届け出てください。

(3) 出願手順

次の「インターネット出願手順マニュアル」に従って、出願手続を行ってください。

令和6年度徳島大学【一般選抜】

インターネット出願手順マニュアル

出願登録及び検定料支払期間	令和6年1月22日（月）0時～2月2日（金）15時 ※1月15日（月）0時よりインターネット出願サイトへの入力（出願内容の下書き保存）が可能です。
郵送書類の提出期間	令和6年1月22日（月）～2月2日（金）17時必着 ※ただし、1月31日（水）までの消印があるものに限り、期限後に到着した場合でも受領します。

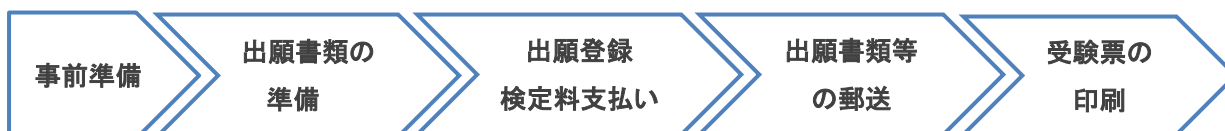
■インターネット出願システム利用推奨環境

<p>①推奨ブラウザ</p> <p>【Windows】 Microsoft Edge 最新バージョン, Google Chrome 最新バージョン, Mozilla Firefox 最新バージョン</p> <p>【Mac】 Safari 最新バージョン</p> <hr/> <p>②ブラウザ設定の確認</p> <ul style="list-style-type: none">・JavaScriptが「有効」に設定されていること・Cookieが「有効」に設定されていること <hr/> <p>③その他</p> <p>入学者選抜要項, 学生募集要項, 出願書類等をPDFフォーマットで閲覧, 利用する場合は, Adobe Reader11.0以上を推奨します。</p>

- ※ 使用するパソコン等の入力機器は, 自宅・学校など, 利用場所は問いません。自己責任においてご利用ください。
- ※ スマートフォンでの利用は, 機種によって対応できない場合があります。パソコンがある場合は, できるだけパソコンをご利用ください。
- ※ 個人情報の流出には, 十分ご注意ください。

■インターネット出願の流れ

インターネット出願サイトでの入力, 検定料の支払いだけでは, 出願は完了していません。必ず, 「出願に必要な書類等」を提出期間内に郵送してください。これらが全て到着し, 内容の審査が終了した時点で出願が受理されます。



1 事前準備

- インターネットが利用できるパソコン，スマートフォンなどの機器
- メールアドレスの準備
- A4用紙が印刷できるプリンタ等の印刷環境（白黒印刷でも可。）の確認
- 写真データ（デジカメ，スマートフォンで撮影可。紙媒体は不可。JPEG形式で3MB未満）
- 検定料支払い方法の確認

2 出願書類の準備

■ 出願書類の詳細

学生募集要項「郵送が必要な出願書類等」をご確認ください。

- 調査書の準備（各高等学校にてご準備ください。）
- 提出書類の準備（出願書類の様式は、本学ホームページ→インターネット出願→「[出願サイト](#)」からダウンロードしてください。）
- 封筒（角形2号），切手（簡易書留速達で送付分）

3 インターネット出願サイトにて出願登録

- 出願情報入力
本学HPよりインターネット出願サイトにアクセスし，必要事項を登録してください。
- 検定料支払い
- 入学願書等の印刷

4 出願書類の郵送

- 簡易書留速達で郵送
入学願書・調査書・作成した書類を封筒（角形2号）に入れ，本学入試課へ郵送してください。

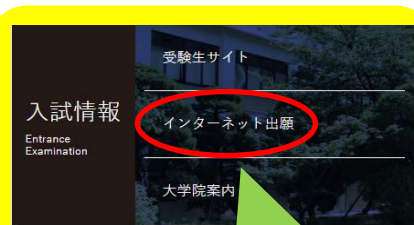
5 デジタル受験票の印刷（ダウンロード開始日以降）

- デジタル受験票を印刷
受験票ダウンロード開始日以降に，出願サイトからダウンロードできるようになります。
※A4用紙に印刷したデジタル受験票を，試験当日に必ずご持参ください。

ホームページ操作手順

STEP 1 徳島大学ホームページにアクセス

徳島大学ホームページトップ <https://www.tokushima-u.ac.jp/>



本学ホームページより「インターネット出願」をクリック

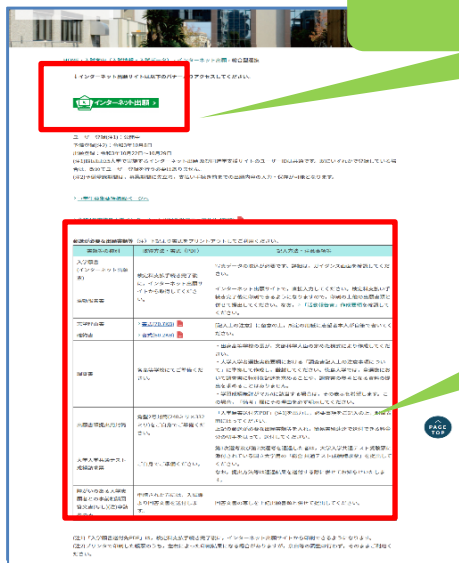


選抜別	出願期間
一般選抜 出願サイト ・ 出願書類 PDF 掲載ページ	令和4年1月24日(月)～2月4日(金) 予約登録開始:令和4年1月17日(月) 受験票ダウンロード開始:令和4年2月15日(火)
学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課さない特別入試) 出願サイト ・ 出願書類 PDF 掲載ページ	令和4年1月18日(火)～2月21日(金) 予約登録開始:令和4年1月4日(火) 受験票ダウンロード開始:令和4年2月25日(火)
総合型選抜 出願サイト ・ 出願書類 PDF 掲載ページ	令和3年10月22日(金)～10月29日(金) 予約登録開始:令和3年10月8日(日) 受験票ダウンロード開始:令和3年11月10日(水)
学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない特別入試) 出願サイト ・ 出願書類 PDF 掲載ページ	令和3年11月1日(月)～11月8日(月) 予約登録開始:令和3年10月18日(月) 受験票ダウンロード開始:令和3年11月10日(水)
外国生選抜 出願サイト ・ 出願書類 PDF 掲載ページ	
社会人選抜 出願サイト ・ 出願書類 PDF 掲載ページ	
私費外国人留学生選抜 出願サイト	令和3年12月6日(月)～12月23日(水) 予約登録開始:令和3年11月22日(月) 受験票ダウンロード開始:令和4年1月6日(水)

出願する選抜区分の「[出願サイト](#)・[出願書類 PDF 掲載ページ](#)」をクリック



インターネット出願登録サイトへアクセス
→STEP 2 ログイン・ユーザー登録画面へ



① 出願書類の様式は、こちらから入手できます

※印刷は片面とし、複数ページの様式は、左上をクリップ留めしてください。

STEP 2 ユーザー登録・ログイン

「四国国立5大学インターネット出願」のユーザー登録・ログイン画面が表示されます。

・はじめて、インターネット出願システムを利用される方
→「新規登録」をクリック・・・STEP 3へ

・四国国立5大学のインターネット出願システムを既に利用されたことがある方
・進学支援サイト利用登録者

→「ユーザーID」と「パスワード」を入力しログイン
・・・STEP 4へ

※「進学支援サイト」は、その利用の有無を含め、本学の入学者選抜と直接の関連はありません。

STEP 3 ユーザー登録 ※はじめて利用される方のみ

①「利用規約」画面

同意するにチェックし、「次へ」をクリック

②メールアドレス登録画面 (ID登録)

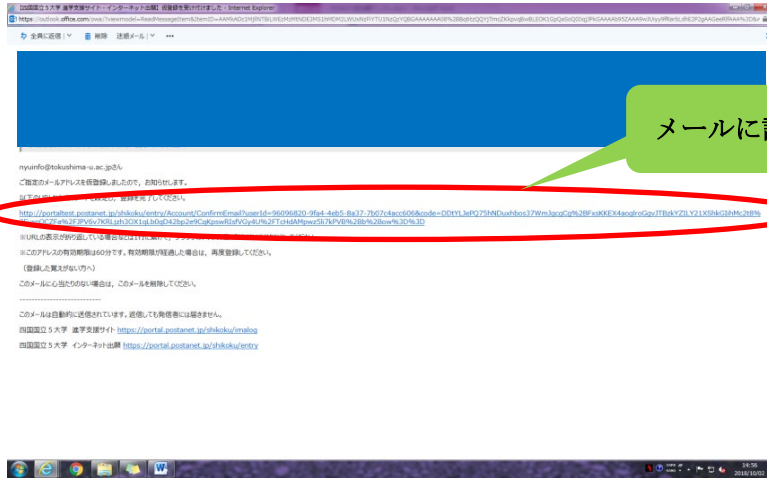
メールアドレスを入力(確認を含めて2回)し、「登録」をクリック

※メールアドレスは、以後ログインのためのIDとなります

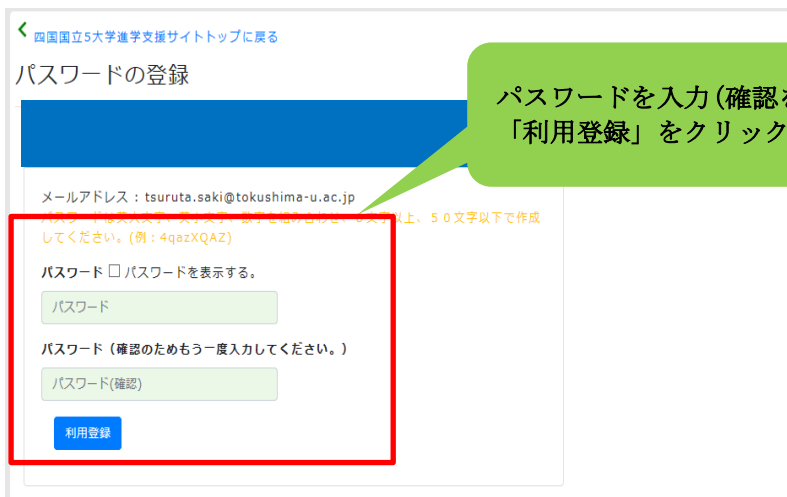
※携帯メールを登録した場合は、ドメイン (@tokushima-u.ac.jp, @postanet.jp) を受信指定してください。

③完了画面へ移行

④配信されたメールの画面



⑤パスワード登録画面に遷移



⑥利用登録完了

※ 2回目以降は、STEP 2 のログイン画面からログインしてください。

STEP 4 出願情報の入力

STEP2 から

または

STEP3 から

①大学を選択

徳島大学を選択する

②出願情報登録画面トップ

「次へ」のボタンをクリック

③選抜区分を選択

選抜区分を選択する

「次へ」のボタンをクリック

④志望学部学科を選択

試験日、志望学部学科、試験会場を選択してください

志望学部学科を選択する
(会場は徳島大学のみ)

「次へ」のボタンをクリック

※志望学部学科の選択後、大学入学共通テストで受験した科目を選択し、大学入学共通テスト請求番号を入力してください。

試験日、志望学部学科、試験会場を選択してください

一般選抜 (前期)

志望学部学科 理工学部 (昼間コース)

選択コース 必須 数理科学コース

選択科目 必須 選択してください

共通テスト

選択教科：国語
 国語
※必須科目になります。

選択教科：地理歴史
 世界史B 日本史B 地理B
※選択教科は「地理歴史」及び「公民」から1科目選択してください。

選択教科：公民
 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済
※選択教科は「地理歴史」及び「公民」から1科目選択してください。

選択教科：数学

数学1
 数学I・数学A
※必須科目になります。

数学2
 数学II・数学B
※必須科目になります。

※数学1と数学2から1科目ずつ選択してください。

選択教科：理科2
 物理 化学
※2科目必須になります。

選択教科：外国語
 英語 (リスニングを含みます。) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語
※1科目選択してください。

会場 徳島大学

大学入学共通テスト請求番号 必須

一般選抜(後期)理工学部志望の場合、第1希望のコース選択は必須ですが、第2希望のコース選択は任意です。第2希望は選択しなくても先に進むことができるため、入力漏れにご注意ください。

(第2希望の選択画面は、第1希望を選択後に下にバーが出てきます。)

⑤出願内容の確認

留意事項 入試区分 志望学科 出願内容の確認 志願者情報の入力 志願者情報の確認 支払手続き

出願内容をご確認ください。
出願内容を修正する場合は、「出願内容を修正する」ボタンをクリックしてください。
この内容でよろしければ「次へ」ボタンをクリックしてください。

出願内容をご確認ください

■内容：

日程	出願	志望学部学科	会場
	1	医学部医学科	徳島大学

受験料 17,000円

※別途手数料が発生します

出願内容を修正する 次へ

出願内容を確認し、「次へ」のボタンをクリック

⑥個人情報入力画面

✓ 留意事項
✓ 入試区分
✓ 志望学科
✓ 出願内容の確認
➔ 志願情報の入力
➔ 志願情報の確認
➔ 支払手続き

志願者情報を入力してください

進学支援サイトから情報を取り込む場合は「進学支援サイトの情報を反映」ボタンを押してください

進学支援サイトの情報を反映

志願者情報

カナシメイ 必須	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
氏名 必須	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
性別 必須	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
生年月日 必須	西暦 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
メールアドレス 必須	<input type="text"/> @ <input type="text"/>
メールアドレス(再入力) 必須	<input type="text"/> @ <input type="text"/>

写真アップロード

File Image

- 出願者本人の顔に撮影したものの
- 6カ月以内に撮影したものの
- 正面、無帽、無背景
- 写真の再撮影など不鮮明な写真は、要

選考結果送付先_住所

郵便番号 必須	<input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/>
都道府県 必須	選択してください
住所1 必須	(例) 徳島市
住所2	(例) 新蔵町2丁目24番地
住所3	(例) ○○マンション101
電話 必須	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> <small>- (ハイフン) は、入力しないでください。</small>
携帯電話	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> <small>- (ハイフン) は、入力しないでください。</small>

出身高校情報

高校名または	<input type="text"/>
出身校	<input type="text"/>

写真のアップロード画面

写真データを選択
(3MB 未満、JPEG 形式)

「次へ」をクリックすると、入力内容を確認できます
① 内容に誤りがないか、必ず確認してください

STEP 5 検定料の支払い

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。

出願手続は完了しましたが、出願手続はまだ完了していません。引き続き、下記「次へ」ボタンをクリックして決済にお進みいただき、指示に従ってお支払いの手続きをお願いします。

※お支払方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックすると、登録されたメールアドレスへ出願確認メールが送信されます。ドメイン指定受信を設定されている方は、メールが送信されない可能性があります。[@tokushima-u.ac.jp]のメール受信設定を行ってください。

※選択されたお支払方法は、変更することができません。

※出願料金は納済にて決済いたします。なお出願料金はダウンロード期間にかかわらず、必ず・有効期限があるので、予め、この期限を過ぎる前に確認・考慮の上、出願料金を準備ください。(システム表示のダウンロード期間は、これら期限内の出願を全て保証するものではありません。)

出願手続きはまだ完了していません

出願内容をご確認ください。

■内容：総合型選抜
出願期間：2022/10/21 0:00:00～2022/10/28 15:00:00

日程	出願	志望学部学科
2022年 11月26日(土)	1	医学部医学科

受験料：17,000円
新入学料：550円
お支払期間：2022/10/28
お支払合計：17,550円

お支払方法の選択

- コンビニ支払い
 - LAWSON FamilyMart
 - ミニストップ
 - ファミリーマート
 - デイリーヤマザキ/ヤマザキダイリーストア
 - セイコーマート
- クレジットカード (以下がご利用頂けます)
 - VISA
 - JCB
 - MasterCard
 - Debit Card
- ペイジー支払い
 - my-key

「次へ」のボタンをクリック
※クリックすると、支払方法は変更できなくなります

次へ

※コンビニエンスストア及びペイジーが利用可能な金融機関 ATM での支払いは、支払方法確定後に取扱い店舗で支払手続を行う必要があります。

コンビニエンスストアを選択した場合

ご希望のコンビニエンスストアをお選びください。

お支払い店舗

選択	店舗名	利用方法
<input type="radio"/>	ローソン LAWSON 「コンビニエンスストア」にて「電子決済(保証書)」をお支払の上、店頭窓口にてお支払をお申し込みください。	コンビニ
<input type="radio"/>	ミニストップ ミニストップ 「コンビニエンスストア」にて「電子決済(保証書)」をお支払の上、店頭窓口にてお支払をお申し込みください。	コンビニ
<input type="radio"/>	ファミリーマート ファミリーマート 「コンビニエンスストア」にて「電子決済(保証書)」をお支払の上、店頭窓口にてお支払をお申し込みください。	コンビニ
<input type="radio"/>	デイリーヤマザキ/ヤマザキダイリーストア ヤマザキダイリーストア 「コンビニエンスストア」にて「電子決済(保証書)」をお支払の上、店頭窓口にてお支払をお申し込みください。	コンビニ
<input type="radio"/>	セイコーマート セイコーマート 「コンビニエンスストア」にて「電子決済(保証書)」をお支払の上、店頭窓口にてお支払をお申し込みください。	コンビニ

コンビニを選択

「お支払い内容」の画面を印刷いただき、各コンビニにてお支払い

次へ

※各コンビニでの詳しい支払方法は、出願サイトにて確認してください。

STEP 6 入学願書等の印刷

検定料の支払手続が完了すると、出願サイトから、以下の帳票が印刷できるようになります。
なお、印刷する帳票は全て **A4サイズ**で、カラー・白黒は問いません。

○入学願書

- ・内容を確認いただき、万一記載事項が誤っている場合は、入学願書に直接赤字で修正ください。(志願する大学・学部・学科の変更はできません。)

○入学願書送付先PDF (徳島大学入試課 行)

- ・角形2号封筒の表面に糊付けしてください。
- ・封筒裏面に差出人の郵便番号、住所、氏名を記載ください。(宛名票に出力された志願者情報と同じ内容としてください。)

<入手方法>

出願サイトに再度ログインし、「詳細を確認」ボタンをクリックする

出願登録番号: 1000197165

申込情報

学校	徳島大学
出願登録	2019年10月26日 13時09分
決済	—
受付完了	—

出願内容

入試区分	AU入試
------	------

詳細を確認



出願内容の照会

出願内容をご確認ください。
入学願書等は、画面下からダウンロードできます。

※決済状況はお支払い完了から数時間後に反映されます。ご了承ください。

下記ボタンから照会画面へ遷移すると、活動記録の編集が行えます。
但し、「出願最終期限を過ぎている場合」または「決済済の場合」は活動記録の照会のみが行えます。

活動記録を照会

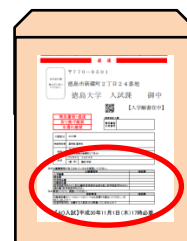
画面下へ(画面一番下にダウンロードボタンがあります)

入学願書ダウンロード 入学願書送付先PDFダウンロード 戻る

STEP 7 出願書類の郵送

STEP1~6 が全て完了し、郵送書類が全て揃ったら、「入学願書送付先PDF」のチェック欄で出願書類等を確認して、封入してください。

簡易書留速達で郵送できる料金分の切手を貼って、送付してください。



STEP 8 デジタル受験票の印刷（ダウンロード開始日以降）

学生募集要項記載の受験票ダウンロード開始日以降に、出願サイトから受験票をダウンロードできるようになります。

<入手方法>

出願サイトに再度ログイン

「詳細を確認」ボタンをクリックする

出願内容の照会

印刷したデジタル受験票を、試験当日必ずご持参ください

※A4用紙に印刷してください

検定料支払い方法

検定料：17,000 円（理工学部夜間主：10,000 円）

クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー（ペイジーが利用可能な金融機関 ATM 及びインターネットバンキング）の3種類の支払方法があります。（支払方法／取扱い金融機関は、下表にあるものに限ります。）それぞれ手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してください。

なお、支払済の検定料は原則返還しません。ただし、事情によっては返還できる場合がありますので、「[本学ホームページ](#)→[受験生サイト](#)→[入試案内](#)→[検定料の返還](#)」をご覧ください。

支払方法/取扱い金融機関	手続等	支払期限
クレジットカード		
<ul style="list-style-type: none"> ・ Visa ・ MasterCard ・ JCB ・ AmericanExpress ・ Diners 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 志願者本人の名義でなくても可。 ・ 支払方法は一括払のみ。 	
コンビニエンスストア ※決済データの反映に数時間かかることがあります。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ セブンイレブン ・ ローソン ・ ミニストップ ・ セイコーマート ・ ファミリーマート ・ デイリーヤマザキ ・ ヤマザキデイリーストア 	<p>コンビニを選択後、出願サイトの「お支払い内容」の画面を印刷いただき、各コンビニにてお支払い。</p>	
ペイジー (Pay-easy) ※決済データの反映に数時間かかることがあります。 ※ペイジー対象金融機関 https://www.pay-easy.jp/where/index.html		<p>令和6年2月2日（金） 15時00分</p> <p><u>※上記支払期限にかかわらず一般選抜の出願書類（郵送書類）は、2月2日（金）17時必着です。</u></p> <p>入学願書等は、支払いが完了しないと入手できません。郵送期間を考慮の上、ご準備ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 金融機関 ATM ・ インターネットバンキング (インターネットバンキングは事前に対象金融機関への登録が必要です。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」はお支払いの際、必要な番号ですので、画面を印刷いただくかメモをお取りください。 ・ 志願者本人の名義でなくても可。 	

こんなときには？（不具合時の対応について）

Q 氏名や住所の漢字が、登録の際にエラーになってしまいます。

A. 氏名や住所などの個人情報を入力する際に、JIS 第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーになる場合があります。その場合は、代替の文字を入力してください。それでも入力が難しい場合は、カタカナで入力してください。
《例》高木→高木 山崎→山崎 （ローマ数字）Ⅲ→3

Q ダウンロードした出願書類のPDF ファイルを表示できません。

A. PDF を表示するには、Adobe Acrobat Reader(無償)が必要です。すでに Adobe Acrobat Reader をお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。

Q 出願登録後に出願内容を変更することはできますか？

A. 出願登録後は出願内容の変更はできません。既に登録した出願情報を放棄し、もう一度、最初から出願登録を行ってください。なお、入学願書に記載事項の誤りがあった場合は、願書にわかりやすく赤字で修正してください。(志願する大学・学部・学科の変更はできません。)訂正印は不要です。

Q 出願書類等を郵送後、申込情報「受付完了」の日時が表示されません。

A. 出願が受理され受験番号が付番された時点で、「受付完了」となり、当該欄に完了日時が表示されます。受付完了までしばらくお時間をいただくことがあります。
なお、郵便状況の確認は、簡易書留受領証に記載されている引受番号を使って日本郵便ホームページの郵便追跡サービスから追跡（検索）してください。

その他の Q & A は「四国国立5大学インターネット出願に関する Q&A」を参照ください。
(このマニュアルと同じところにリンクを掲載しています)

《インターネット出願方法・支払い方法に関するお問い合わせ先》

◆出願操作サポート窓口（運営会社：京都電子計算株式会社）
（インターネット出願の操作方法についてのお問い合わせ）

電話番号：075-341-8620

受付期間：令和6年1月15日（月）～2月2日（金）（土日含む）

受付時間：午前9時～午後8時

◆徳島大学学務部入試課（上記以外のお問い合わせ）

電話番号：088-656-7091

受付期間：平日のみ

受付時間：午前9時～午後5時

9 本学受験票の印刷

本学で出願を受理した志願者については、以下の日程でインターネット出願サイトから受験票をダウンロードできるようになります。自分で A4 用紙に印刷し、試験当日に持参してください。

受験票ダウンロード開始日
令和6年2月13日(火)

10 合格者の発表

合格者の受験番号を以下のとおり発表します。また、合格者には同日付けで合格通知書を送付します。電話等による合否の問い合わせには、応じられません。

なお、ホームページに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うものであり、合格通知書を公式のものとしします。

発表日時		発表方法
前期日程	令和6年3月6日(水) 14時	本学ホームページに1週間程度掲載
後期日程	令和6年3月21日(木) 14時	

11 欠員補充の方法

入学定員に欠員が生じた場合は、次の方法により欠員補充を実施することがあります。なお、他の国公立大学の入学手続を完了した者は、本学の合格者となりません。

(1) 追加合格

追加合格の実施の有無については、令和6年3月28日(木)から本学ホームページで情報提供を行います。

追加合格を実施する場合は、令和6年3月28日(木)以降に「選考結果通知先」に直接通知します。

(2) 欠員補充第2次募集

欠員補充第2次募集を実施する場合は、令和6年3月28日(木)以降に本学ホームページで情報提供を行います。

12 不正行為

次のことを行うと不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じますので、それ以後の受験はできません。

また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。

なお、不正行為の内容によっては、更に厳正に対処する場合があります。

- ① 入学願書，受験票，写真票，解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること（出願情報登録時に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）。
- ② カンニングをすること（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わること）。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり，カンニングの手助けをしたりすること。
- ④ 「解答はじめ」の指示の前に，問題冊子を開いたり，解答を始めたりすること。
- ⑤ 試験時間中に，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，電子辞書，ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑥ 大学が指定する場合を除き，試験時間中に定規，コンパス，電卓等の補助具を使用すること。
- ⑦ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子等を閉じてください」の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり，解答を続けたりすること。
- ⑧ その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

13 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続書類を送付します。以下の期間内に、Web入学手続システムにより手続を行ってください。持参による手続はできません。

郵送が必要な書類（**入学手続システム入力期間最終日必着**）がありますので、詳しい手続方法については、入学手続書類を必ず確認してください。

(1) 入学手続システム入力期間

前期日程 令和6年3月7日（木）～3月15日（金）

後期日程 令和6年3月22日（金）～3月27日（水）

(2) 入学手続に際しての注意事項

- ① 本学の入学手続を完了した者が、これを取り消して他の国公立大学の入学手続を行うことはできません。また、他の国公立大学の入学手続を完了した者が、これを取り消して本学の入学手続を行うことはできません。
- ② 既納の入学料は、返還しません。
- ③ 期間内に入学手続を完了しなかった者は、本学への入学を辞退したものとして取り扱います。
- ④ 入学手続完了後に高等学校を卒業できないことが判明した者については、入学許可を取り消します。
- ⑤ 入学料及び授業料には、減免と給付型奨学金制度があります。
- ⑥ 授業料の納付は、原則として口座振替により行います。
- ⑦ 入学料、授業料以外に、学生教育研究災害傷害保険料、後援会費等の納付が必要です。金額は学部により異なります。
- ⑧ 入学手続後、特別な事情により入学を辞退する必要が生じた場合は、令和6年3月28日（木）15時までに合格した学部連絡の上、入学辞退許可願（本学所定の様式）を令和6年3月31日（日）までに提出してください。

入学料、授業料等

区 分	入学料	授業料(年額)	授業料(半期)	その他の納付金
学部(夜間主コースを除く)	282,000円	535,800円	267,900円	学部によって異なる
学部(夜間主コース)	141,000円	267,900円	133,950円	

注) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改定した場合は改定金額が適用されます。

14 入学前学習

入学試験に合格し入学手続を完了した皆さんを対象に、入学前学習を実施する学部・学科があります。

入学前学習に関する案内は、合格通知を送付する際に同封する予定です。入学後の学習に直結していますので、必ず学習しておいてください。

15 入学試験の成績の開示

受験者本人からの開示請求に基づき、本人の入学試験の個人成績を郵送により開示します。

(1) 開示請求受付期間

令和6年5月1日（水）～令和6年6月28日（金）（土日、祝日を除く。）

郵送、持参とも期間中に請求してください。

(2) 開示対象

- ・一般選抜（前期日程・後期日程）
- ・総合型選抜（第1次選考不合格者を除く。）
- ・学校推薦型選抜Ⅰ（生物資源産業学部のみ）
- ・学校推薦型選抜Ⅱ

(3) 開示内容

本学の実施する個別学力検査等及び大学入学共通テストの個人成績

- ・総得点
- ・個別学力検査等の総得点及び科目毎の得点（点数化していない面接は評価記号）
- ・大学入学共通テストの総得点及び科目毎の得点（合否判定に使用した得点）

(4) 請求方法

以下の書類をすべて同封し、当該学部申し込んでください。

開示内容は、令和6年6月3日（月）以降に、請求者に対し文書で通知します。

① 入学試験情報開示請求書

本学ホームページ受験生サイトからダウンロードできます。

② 本学又は大学入試センター発行の受験票

③ 返信用封筒

本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、郵便切手（簡易書留料金分）を貼付した長形3号（235 mm × 120 mm）

※開示に要する手数料は無料ですが、郵便料金は申請者の負担とします。返信用封筒に定形外封筒を使用する等で郵便料金の不足が生じた場合は、送付できないことがありますので注意してください。

16 試験問題及び出題意図, 解答例等の公表

- (1) 試験問題及び出題意図は、当該試験終了後の適当な時期に本学ホームページで公表します。ただし、著作権処理の必要なものは除きます。
- (2) 解答例は、令和6年6月3日（月）以降に公表します。ただし、国語、小論文及び志望調書については、出題意図のみ公表します。
- (3) 一般選抜合格者の最高点・最低点・平均点は、令和6年5月中に公表します。

17 奨学金, 入学料・授業料免除, 学生寮等

奨学金, 入学料・授業料免除, 学生寮等については、合格者に送付する入学手続書類又は本学ホームページを確認してください。



<https://www.tokushima-u.ac.jp/campus/>

18 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定め、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や教育が受けられない場合がありますので、出願にあたっては注意してください。

詳細については、研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。



<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/>

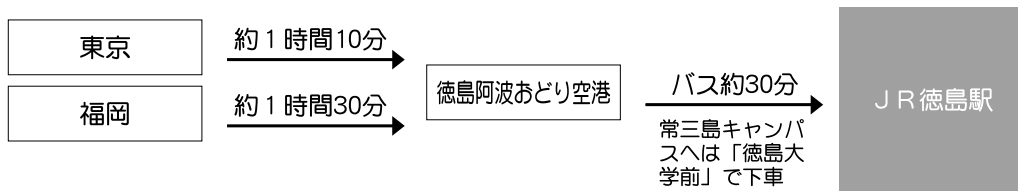
位置図



<p>常三島キャンパス 総合科学部 理工学部, 生物資源産業学部</p>	<p>徳島市南常三島町 1 丁目 1 番地 徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地</p>
<p>蔵本キャンパス 医学部, 歯学部 薬学部</p>	<p>徳島市蔵本町 3 丁目 18 番地の 15 徳島市庄町 1 丁目 78 番地の 1</p>

交通アクセス

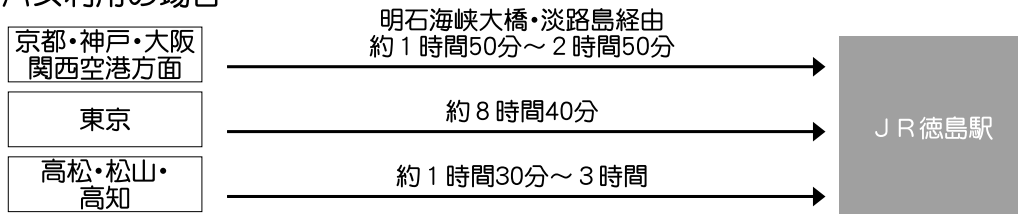
■航空機利用の場合



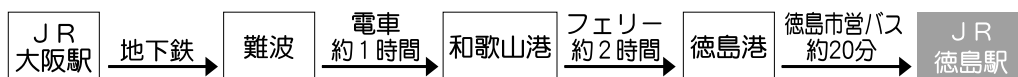
■鉄道利用の場合



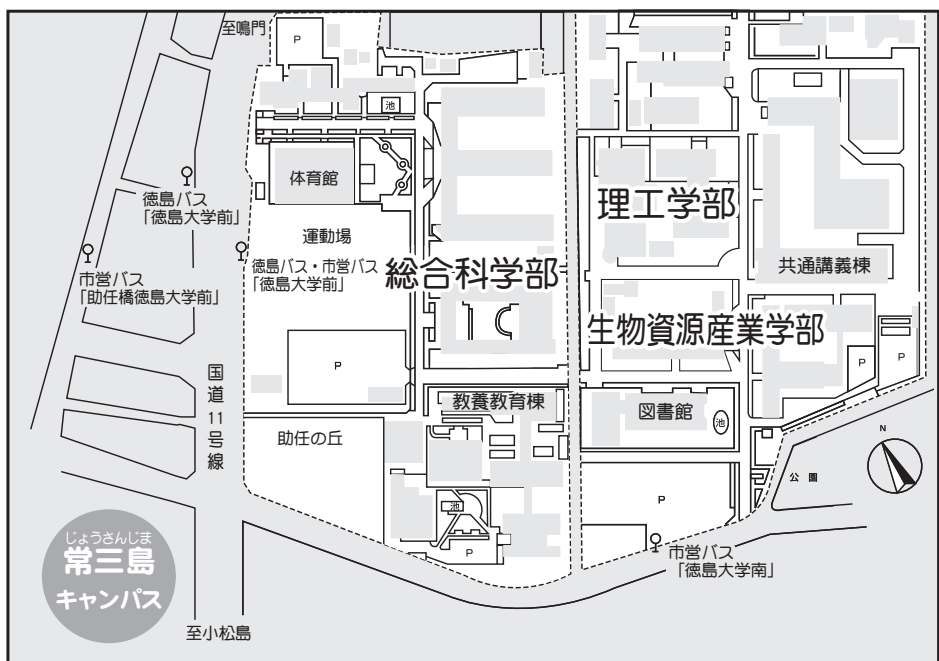
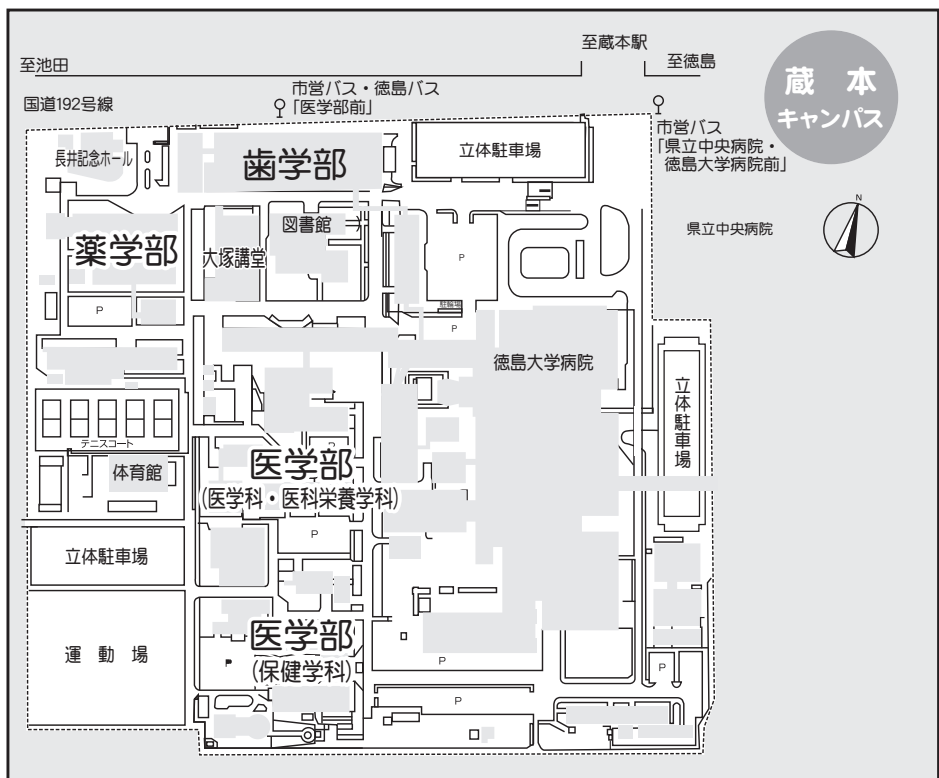
■バス利用の場合



■フェリーボート利用の場合



キャンパスマップ



徳島駅から各キャンパスへのアクセス



総合科学部
理工学部
生物資源産業学部

徳島市営バス
「助任橋・徳島大学前」 下車
「徳島大学前」 徒歩5分



医学部
歯学部
薬学部

徳島市営バス
「県立中央病院・徳島大学病院前」 下車
「医学部前」 徒歩2分

徳島大学
受験生サイト

- 大学案内の請求方法
- オープンキャンパス案内
- 試験実施状況
- その他、各種入試情報を時期に応じてお知らせしています。

ホームページ <https://www.tokushima-u.ac.jp/admission/>



問い合わせ先

〒770-8501 徳島市新蔵町 2 丁目 24 番地

徳島大学入試課

受付時間：
月～金曜（祝日を除く。）
8:30～17:00

Tel 088-656-7091 E-mail nyuinfo@tokushima-u.ac.jp

■ 学部・学科等に関する事項

教養教育（学務部教育支援課） Tel 088-656-7308

総合科学部 Tel 088-656-7108

医学部

医学科・医科栄養学科 Tel 088-633-7028・7029

保健学科 Tel 088-633-9009

歯学部 Tel 088-633-7310

薬学部 Tel 088-633-7247

理工学部 Tel 088-656-7315・7317

生物資源産業学部 Tel 088-656-8021